OmniPass Enterprise Edition V3



システム管理者用マニュアル

第1.0版





目次

第一章 はじめに	
1-1. OmniPassEE 概要	3
1-2. OmniPassEE の仕様	6
1-3. マニュアルの構成	7
1-4. 本製品に関するお問い合わせ	8
第二章 OmniPassEE 環境の構築	
2-1. OmniPassEE の構築	9
2-2. OmniPassEE サーバアプリケーションのインストール・アンインストール	1
2-3. OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール・アンインストール	0
2-4. OmniPassEE クライアント PC の接続2-	4
2-5. OmniPassEE クライアントユーザの登録2	8
2-6. その他クライアントユーザ・PC の管理	4
第三章 OmniPassEE の管理	
3-1. OmniPassEE クライアントユーザの管理 <サーバ側>	9
3-2. 認証デバイスの管理 <サーバ側>6	6
3-3. OmniPassEE クライアント PC の管理 <サーバ側>70	0
3・4. イベントログについて	7
3-5. ライセンスの追加	1
第四章 付録	
4-1. トラブルシューティング	2
4-2. OmniPassEE クライアントユーザのアカウント情報管理について	3
4-3. OmniPassEE クライアントユーザの緊急ポリシーオーバーライド設定について	6
4-4. OmniPassEE クライアントユーザの認証規則の設定について	8
4-5. デフォルトユーザポリシーの設定について	9
4-6. アドミニストレータグループメンバーの設定について10	0
用語集	
[本マニュアル内での用語定義]10	2

第一章 はじめに



1-1. OmniPassEE 概要

OmniPassEE は、ドメインサーバへのログオン認証や暗号化ファイルの共有をドメイン単位で管理 するための指紋認証システムサーバソフトです。OmniPassEE は、サーバと一体化することで従来 のスタンドアロン型セキュリティソフトウェアでは実現できなかった同一ドメイン内での認証情 報の共有や暗号解除鍵を特別に作成しなくても OmniPassEE クライアントユーザ自身の公開鍵で 暗号化・復号化できるファイル共有システムを実現しました。OmniPassEE の主な特徴を以下に示 します。

[OmniPassEE の特徴]

■Microsoft 標準 MMC コンソールの GUI を元にした管理コンソールを採用。

OmniPassEE クライアントユーザ、OmniPassEE クライアント PC に関する設定・データを Active Directory の操作と同じ要領でサーバから操作・閲覧することができます。

■OmniPassEE クライアントユーザの指紋登録がどの OmniPassEE クライアント PC からでも可能。 一度の登録で全ての OmniPassEE クライアント PC から指紋認証でログオンできるようになりま す。

■暗号化した情報の共有がより簡単、便利に。

- OmniPassEE クライアントユーザの秘密鍵は OmniPassEE サーバ PC に保存され、必要なときに読み出されます。共有対象の OmniPassEE クライアントユーザは、自分の公開鍵でファイルの暗号化を解除し、内容を閲覧することができます。暗号化ファイルを共有する際にも、秘密鍵の受け渡しの必要がない、安全な共有が行えます。また、暗号化されたファイルを同じドメイン内の OmniPassEE クライアントユーザにメールで転送すると、受け取った OmniPassEE クライアントユーザは自分の公開鍵で復号化することができます。
- ■指定した OmniPassEE サーバ PC または OmniPassEE クライアント PC にイベントログの保存が可能。

OmniPassEE では、OmniPassEE サーバへのログオンや各機能を使用する際に本人認証操作が行われると、その記録を OmniPassEE サーバ PC または OmniPassEE クライアント PC に残すことができます。



[各指紋センサの特徴]

・ SREX-FSU1/FSU1G について

※ SREX-FSU1G は SREX-FSU1 の後継製品です。

双方は、指紋センサ内部の仕様が同一であり、同じドライバソフトウェアおよび、アプリケーション ソフトウェアがご使用いただけます。そのため、本ユーザーズマニュアル本文で引用しておりますイ ンストール画面などで[SREX-FSU1]と表記されている箇所がありますが、ご使用上問題ありません。

■使いやすく軽量コンパクト

指紋センサに富士通製静電容量式半導体センサ256×300ピクセ ルを搭載。小型でありながらセンサ面が大きく、自然に指を置く ことができ、使いやすいデザインになっています。 また、接続ケーブルは指紋センサ本体から取り外せるセパレート 式で、ケーブルの取りまわしが良く、持ち運びもコンパクトに扱



■確実な個人認証が可能

えます。

指紋認証エンジンに最新のバイオメトリクス技術「特徴点相関方式」を採用。さらに、認証しづら い指紋に対して形状特徴を追加して照合を行う(適応型形状相関法)ことにより、本人受理率 99.96% 以上、他人受理率 0.0002%以下の高性能な指紋識別能力を実現しました。また、指紋データは暗号化 された非可逆性データで実際の指紋画像には戻せませんので、プライバシー保護も万全です。

「特徴点相関方式」の概念

隆線は指紋の模様を形成する皮膚の盛り上が った部分になり、特徴点には隆線が止まって いる部分(端点)と隆線が分岐している部分 (分岐点)があります。特徴点相関方式では 端点と分岐点のデータのみを使いますので、 指紋データが記録されることはありません。





・ SREX-FSU2 について

■使いやすく軽量コンパクト

本製品は Validity 社の LiveFlex テクノロ ジ(高パフォーマンス・耐久性を持つセンサを 開発する技術)を採用し、高い信頼性・耐久性 を実現したスワイプタイプの指紋センサです。 46.0(W)×64.5(L)×13.0(H)mm/約 40g と小型・軽量で、指をスライドさせるのに最適 なサイズとなっています。

また、接続ケーブルは指紋センサ本体から取 り外せるセパレート式で、ケーブルの取りまわ しが良く、持ち運びもコンパクトに扱えます。



■真皮指紋認証

SREX-FSU2 は高周波 RF センシング機構によ り、表皮より約 0.5mm 下の真皮指紋を 立体的 に読み取ることで、「乾燥指」「しめった指」「荒 れた指」「傷のある指」など、指表面の状態に ほとんど左右されず、高い読み取り精度を実現 します。



■耐久性

指が直接センサ面に触れないプラスチックフィルムセンサを採用している為、指の接触・衝撃・静電 気に高い耐久性を発揮します。



1-2. OmniPassEE の仕様

(1) 製品内容

本製品 CD-ROM には、以下のソフトウェアが収録されています。

- OmniPassEE サーバアプリケーション
- OmniPassEE クライアントアプリケーション
- OmniPassEE 管理マニュアル
- OmniPassEE クライアントユーザ用補足マニュアル

(2) 製品仕様

対応するオペレーティングシステム(OS)、インターネットブラウザ、必要 HDD 空き容量は下記の 通りとなります。

必要なシステム要件 [サーバ PC]

対応 0S	Windows Server 2012R2/2012/2008R2/2008 ※64bit版にも対応
対応ブラウザ	Internet Explorer
	※ 全てのバージョンでの動作を保証するものではありません。
必要 HDD 空き容量	90MB 以上

必要なシステム要件 [クライアント PC]

対応 0S	Windows 8.1/8/7 ※64bit版にも対応
対応ブラウザ	Internet Explorer
	※ 全てのバージョンでの動作を保証するものではありません。
必要 HDD 空き容量	80MB 以上



- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ② 本製品を導入・使用によるデータおよびシステムの破損に関しましては一切責任を負いかね ますのであらかじめご了承ください。
- ③ 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。 また、本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤りなどお 気づきになりましたらご連絡願います。
- ④ 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守およびサポートは行っておりません。



1-3. マニュアルの構成

本マニュアルの第二章「OmniPassEE 環境の構築」からは、指紋認証サーバソフトウェア OmniPassEE の環境を構築する手順について説明を行っています。

第三章「管理」では、OmniPassEE 各種設定項目の解説および運用管理の方法に関する説明を行っています。

OmniPassEE 環境を構築される際は、第二章で説明している手順に従ってインストールを行ってく ださい。第三章「OmniPassEEの管理」および第四章「付録」に記載の内容に関しては、ご使用の 目的に合わせて必要となる内容をご参照ください。



1-4. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問は、FAX または、電子メールにて、下記までお問い合わせください。お 問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号までお送りく ださい。また、電子メールにてお問い合わせの場合は、質問用紙にある項目を下記メールフォー ムに記述のうえ、送信お願いいたします。

ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合がございますのであらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

FAX 06-6633-8285

電子メール (メールフォーム): http://web1.ratocsystems.com/mail/support.html

ホームページで最新の情報をお届けしております。

http://www.ratocsystems.com

個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、 お客様への回答など本件にかかわる業務のみに使用し、他の目的では使用いたしません。

第二章 OmniPassEE 環境の構築



OmniPassEE の構築には、次の4つの作業が必要です。 「2-1-1. OmniPassEE サーバアプリケーションのインストール」 「2-1-2. OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール」 「2-1-3. OmniPassEE クライアント PC の接続」 「2-1-4. OmniPassEE クライアントユーザの登録」

2-1-1. OmniPassEE サーバアプリケーションのインストール

OmniPassEE サーバになる Active Directory のルートドメイン、または ADAM サーバのイ ンスタンスに OmniPassEE サーバアプリケー ションをインストールします。

※ 詳細は「2-2. OmniPassEE サーバアプリ ケーションのインストール・アンインス トール」をご参照ください。



2-1-2. OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール

OmniPassEE のクライアントになる PC に OmniPassEE クライアントアプリケーションをインスト ールします。

※ 詳細は「2-3. OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール・アンインスト ール」をご参照ください。



- 🗆 🗵

2-1-3. OmniPassEE クライアント PC の接続

クライアントPCのOmniPassEEサーバへの接続には、次の2通りの方法があります。

- クライアントPCから接続
- OmniPassEE 管理コンソールから登録

	ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
	🗢 🔿 🔰 🧕 🛛	
エンタープライズサーバを検出しました	OmniPass Management Console Root Root Root	最大ライセンス数:10
	□ □	(使用うイセンス数:2
	Commin desiter 212-112-112/12	J.

🍳 OmniPass Management Console

クライアント PC から接続

OmniPassEE 管理コンソールから登録

※ クライアント PC の接続方法については、「2-4. OmniPassEE クライアント PC の接続」を ご参照ください。

2-1-4. OmniPassEE クライアントユーザの登録

クライアントユーザの OmniPassEE サーバへの登録には、次の2通りの方法があります。

- ・ OmniPassEE クライアント PC から登録
- OmniPassEE 管理コンソールから登録





OmniPassEE クライアント PC から登録

OmniPassEE 管理コンソールから登録

※ クライアントユーザの登録方法については、「2-5. OmniPassEE クライアントユーザの登録」を ご参照ください。



2-2. OmniPassEE サーバアプリケーションのインストール・アンインス

トール

OmniPassEE は Active Directory と ADAM/AD LDS サーバの両方に対応しています。 Active Directory と ADAM/AD LDS サーバへのインストールの手順はほぼ共通ですが、 ADAM/AD LDS サーバにインストールする場合、ADAM/AD LDS インスタンスの追加が必要です。 本書では、ADAM/AD LDS サーバへのインストールの際に必要な手順を STEP4 に記載していま す。本製品を Active Directory にインストールする際は、STEP4 の手順は必要ありません。

OmniPassEE サーバアプリケーションのインストール手順 (AD、ADAM/AD LDS サーバ共通)

STEP 1

64bit版 0S の場合

[CD-ROM]¥Enterprise¥Enterprise_x64 にある setup.exe を実行します。 <u>32bit版OSの場合</u> [CD-ROM]¥Enterprise¥Enterprise_x32 にある setup.exe を実行します。

「セットアップへようこそ」の画面で 「次へ」をクリックします。



STEP 2

使用許諾書の内容をご確認いただき、同 意であれば「はい」をクリックします。

OmniPass Management Console - InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意:深くお読みください。	
契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。 	
重要・本ライセンス契約者は本コンピュータ ソフトウェア プログラムのインストー ル前にお読みださい。本条項に同意されない場合は、本ソフトウェアをインストー ルできません。	-
Softex Inc.は本コンピュータ ソフトウェア プログラムおよびパッケージに含まれ るユーザー マニュアルあよび Softex Inc.よりお客様が受け取るあらゆる修正、 更新、な坂振えたば私移を提供し、かつ以下に宣 言する条項の範囲におけるその使 用許諾契約を行うものです。	
ライセンス許諾および著作権	•
使用許諾契約の全条項に同意しますか? [いいえ)を選択するとセットアッフが終了されます。 OmmiPass Management Console をインストールするには、この使用許諾契約に同意が必要 です。 InstallSpind	ED刷(P)
< 戻る(B) (はい(y)	いいえ(N)



STEP 3

Active Directory か ADAM/AD LDS サー バのどちらにインストールするかを選 択し、「次へ」をクリックします。

🦧 OmniPass Enterprise Installer	×
Please specify where to install OmniPass Enterprise components	
C Active Directory	
C ADAM/AD LDS(Active Directory Application Mode)	
Next Cancel	

▲ ADAM/AD LDS サーバにインストールする場合は[STEP4]へ、 Active Directory にインストールする場合は[STEP5]へ進んでください。



ADAM/AD LDS サーバへのインストール手順 (ADAM/AD LDS のみ)

※ Active Directory にインストールする場合は、[STEP5]へ進んでください。

 OmniPassEE を ADAM/AD LDS サーバにインストールする場合、Active Directory と共通のイ ンストール手順に加えて ADAM/AD LDS インスタンスのインストールが必要になります。

STEP 4

STEP 4-1 セットアップの種類を選択し、 「Next」をクリックします。

以下で、各選択肢について説明しま す。

以降、次ページの表示された STEP (STEP4-2 または STEP4-4)から作業を 進めてください。

Omn	iPass Enterprise Installer	×
S	Select the feature you want to install. Click next to continue.	
	C Install a new instance of ADAM/AD LDS	
	C Create OmniPass partition on existing ADAM/AD LDS instance	
	C OmniPass application partition already exists	
	Next Cancel	

•[Install a new instance of ADAM/AD LDS]

ADAM/AD LDS インスタンスがインストールされていないサーバに OmniPassEE をインストールする 場合に選択します。

このセットアップでは、OmniPassInstance という新しいインスタンスがインストールされます。

●[Create OmniPass partition on existing ADAM/AD LDS instance]

ADAM/AD LDS インスタンスがすでにサーバにインストールされていて、OmniPassEE のデータコン テナが存在しない場合に選択します。

(前回アンインストール時に OmniPass データコンテナを削除した場合はインストールしてください。)

● [OmniPass application partition already exists]

ADAM/AD LDS インスタンスがすでにサーバにインストールされていて、OmniPassEE のデータコン テナも存在する場合に選択してください。

STEP 4-2

管理者となるユーザ名を入力し、 使用サーバのドメインが選択されて いることを確認し「Next」をクリッ クします。

e Installer		
e user name and domain name of up:	f a user to be added to ADAM/AD LD	5
administrator		
OPEE7		•
	Next C	ancel
	e Unstaller e user name and domain name of pup: administrator OPEE7	e Unstaller e user name and domain name of a user to be added to ADAM/AD LD: oup: administrator OPEE7 Next C

STEP 4-3

OmniPassInstance の作成が成功しま したら右画面が表示されますので 「OK」をクリックします。



STEP 4-4

NetBIOS 名と ADAM/AD LDS のポートを 入力して 「Next」をクリックします。

nniPass Enterprise Installer	
ADAM/AD LDS Server: NetBios Name of the machine where ADAM/AD LDS s/w is installed	WIN-373MGITTUPE
ADAM/AD LDS Port:	50000
	Next Cancel



OmniPassEE サーバコンポーネントのインストール手順 (AD、ADAM/AD LDS サーバ共通)

STEP 5

インストールが必要な項目にチェッ クを入れ、管理者のユーザ名とパスワ ードを入力し「Next」をクリックしま す。 (本マニュアルでの説明は64bit版0Sでの例 となります。 32bit版0Sでの画面は異なりますが同様に

インストールしてください。)

一度スキーマを拡張すると、拡張 したスキーマを元には戻せません のでご注意ください。

Schema Admin	administrator
Password :	******
Domain¥Tree :	opee7.ratoc.com
Create Container	
Domain Admin	
UserName :	administrator
Password :	*****
Domain¥Tree :	opee7.ratoc.com

[<u>Extend Schema</u>] スキーマを拡張します。 初回インストールの場合はインスト ールしてください。

[<u>Create Container</u>] OmniPass データコンテナを作成しま す。 初回インストールの場合、もしくは前 回アンインストール時に OmniPass デ ータコンテナを削除した場合はイン ストールしてください。

[<u>Install OmniPass</u>] 必ずチェックを入れてください。







STEP 6

インストール先を選択し「次へ」をク リックします。



STEP 7

以上で、セットアップ完了です。 「完了」をクリックします。

OmniPassEE を有効にするために、サー バPC を再起動してください。



OmniPassEE サーバアプリケーションのアンインストール手順 (AD、ADAM/AD LDS サーバ共通)

STEP 1

「スタート」メニューから「コントロー ルパネル」→「プログラムと機能」を起 動します。

「OmniPass Management Console」を選 択し、「アンインストールと変更」をク リックします。

(Windows Server2008 R2 での実行例です。) または、「スタート」メニューから「す べてのプログラム」→「Softex」→ 「Uninstall OmniPass Management

Console」を選択します

STEP 2

アンインストールに関する注意事項を ご確認いただき「次へ」をクリックしま す。





アンインストールする場合は「はい」を クリックします。

STEP 4

STEP 3

以上で、OmniPass Management Console と OmniPass のアンインストールは完了 です。

「はい、今すぐにコンピュータを再起動 します。」を選択して、「完了」をクリッ クします。

OmniPass データコンテナの削除につきましては次ページ以降をご参照ください。



ここまでのアンインストール作業で OmniPass Management Console および OmniPass は削除されました。
 しかし、登録された OmniPassEE クライアントのユーザ情報・PC 情報・ライセンス情報が OmniPass データコンテナに残っています。
 OmniPass データコンテナの削除方法につきましては、以下の手順をご参照ください。
 ・AD サーバでの削除方法 -- 「OmniPass データコンテナの削除(AD サーバ)」
 ・ADAM/AD LDS サーバでの削除方法 -- 「OmniPass Instance の削除(ADAM/AD LDS サーバ)」

(拡張したスキーマについては、ADAM/AD LDS サーバへ拡張した場合を除き、削除することができません。)

📴 Active Directory ユーザーとコンピュータ

表示(V) ヘルプ(

列の追加と削除(A). 大きいアイコン(G)

> 覧(L) 細(D)

イル(E) 操作(<u>A</u>)

保存されたクロ

OmniPass データコンテナの削除(AD サーバ)

STEP 1

「スタート」メニューから「管理ツール」 →「Active Directory ユーザーとコン ピューター」を選択します。 「表示」タブを選択し、「拡張機能」を クリックしてチェックを入れます。

カスタマイズ(ロ |上」_____」 |拡張機能と拡張オブジェクトを有効/無効にします tive Directory ユーザーとコンピュータ - 🗆 × 操作(A) 表示(V) 0 🗟 🛛 🖬 🔧 📚 😭 🍸 📅 🔏 🗖 🗙 山前隊 名前 — BlobIds 種類 1000 tive Directory ユ 保存されたクエリ ee7ratoc.com Builtin THIndex UserIds コンテナーコンテナー Computers Domain Controllers ForeignSecurityPrinc LostAndFound OmnipassContainer System ∎ 🧮 Users ∎ 🚆 NTDS Quotas

ner for upe

STEP 2

「OmnipassContainer」上で右クリック を行い「削除」を選択します。

STEP 3

削除する場合は「はい」をクリックしま す。

STEP 4

「[サブツリーの削除]サーバーコント ロールを使用する」にチェックを入れ 「はい」をクリックします。

以上で OmniPass データコンテナの削除 は完了です。



OmniPass Instanceの削除(ADAM/AD LDS サーバ)

STEP 1

「スタート」メニューから「コントロー ルパネル」→「プログラムと機能」を選 択します。

「AD LDS インスタンス OmniPassInstance」を選択し、「アンイ ンストール」をクリックします。

STEP 2

アンインストールする場合は「はい」を クリックします。



STEP 3

以上で OmniPass Instance は削除されま した。 「OK」をクリックします。



2-3. OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール・

アンインストール

OmniPassEE クライアントアプリケーションのインストール

インストールの前に

- (1) OmniPassEE のクライアントアプリケーションをインストールする前に、クライアントPC に SREX-FSU1G/FSU2 をインストールする必要があります。インストールの手順については、SREX-FSU1G/FSU2 のユーザーズマニュアルをご参照ください。
- (2) クライアント PC はあらかじめサーバのドメインに接続できるように設定してください。
- (3) コンピュータの管理者権限を持つユーザとしてログオンし、インストールを開始し てください。

STEP 1

<u>64bit 版 OS の場合</u>

(AD サーバへ接続する場合)
[CD-ROM]¥AD_CLIENT¥AD_CLIENT_x64 にある setup. exe を実行します。
(ADAM/AD LDS サーバへ接続する場合)
[CD-ROM]¥ADAM_CLIENT¥ADAM_CLIENT_x6
4 にある setup. exe を実行します。

32bit 版 0S の場合

(AD サーバへ接続する場合)
[CD-ROM]¥AD_CLIENT¥AD_CLIENT_x32 にある
setup. exe を実行します。
(ADAM/AD LDS サーバへ接続する場合)
[CD-ROM]¥ADAM_CLIENT¥ADAM_CLIENT_x32 にある
setup. exe を実行します。



「セットアップへようこそ」の画面で 「次へ」をクリックします。



※ AD サーバへ接続する場合、STEP4 は表示されません。STEP5 へ進んでください。

STEP 4

STEP 4-1 ADAM/AD LDS サーバへ接続する場合、「は い」をクリックします。

STEP 4-2

接続するサーバ名とポート番号(デフォ ルト:50000)を入力し「次へ」をクリッ クします。





STEP 5

OmniPassEE クライアントのインストール 実行画面が表示されます。 ここでは、何も操作する必要はありません。

2

OmniPassによって、システムにプラグインがインストールされるまでしばらくお待ちください…

STEP 6

「はい、今すぐコンピュータを再起動し ます。」を選択し、「完了」をクリックし ます。

インストール後の再起動時には、サーバ ドメインのクライアントとして PC にログ オンしてください。

OmniPass - InstallShield Wizard ₹. InstallShield Wizard の完了 セットアッフでは、コンピューターへの OmniPass のインストールを完了しました。 ◎ はい、今すぐコンピューターを再起動します。 ◎ いいえ、後でコンピューターを再起動します。 ドライフからすべてのディスクを取り出してから、「完了」 ホタンをツックして、 セットアップを終了してください。 < 戻る(B) 完了 キャンセル

OmniPassEE クライアント PC のサーバへの接続方法については、「2-4. OmniPassEE クライアント PC の接続」をご参照ください。



OmniPassEE クライアントアプリケーションのアンインストール

STEP 1

「スタート」メニューから「コントロールパネ ル」→「プログラムと機能」を起動します。

「OmniPass」を選択し、「アンインストール」を クリックします。

または、「スタート」メニューから「プログラム」 →「Softex」→「OmniPassのアンインストール」 を選択します。(Windows 7での実行例です。)

STEP 2

アンインストールに関する注意事項をご確認い ただき「次へ」をクリックします。



OmniPass - InstallShield Wizard	×
Softex OmniPassのアンインストール	X
Softex OmniPassアンインストール 一重要:よくお読みください	
警告・OmniPassをアンインストールするとすべてのOmniPassユーザーに影響があります。	*
Softex OnniPassをアンインストールすると、 1. OmniPassで暗号化したファイルはすべて道号化できなくなります。 2. 記憶されたパスフードやその他の情報版はすべて失く知識す。	
OmniPassをシステムからアンインストールする場合、あらかじめ以下の作業を行うことを強く 1.暗者にしたファイルをOmniPassのアンインストール前にすべて運気にしておくこと。 2.すべてのOmniPassユーザープロアイルのパックアップファイルを作成以保存しておくこと。	推奨します。
4	
InstallShield (戻る(B 次へ (W))	キャンセル
Softex OmniPassのアンインストール	
② Softex OmniPassを完全にシステムから削除してもよいで	ימ?
(triff) in	ヽえ(N)

STEP 3

アンインストールする場合は「はい」をクリッ クします。

STEP 4

OmniPassEE クライアントのアンインストール 実行画面が表示されます。

ここでは、何も操作する必要はありません。

STEP 5

以上でアンインストールは完了です。 「はい、今すぐにコンピュータを再起動しま す。」を選択して「完了」をクリックします。



OmniPassによって、システムのプラグインがアンインストールされるまでしばらくお待ちください…



2-4. OmniPassEE クライアント PC の接続

クライアントPCのOmniPassEEサーバへの接続には、次の2通りの方法があります。

- ・ 「2-4-1. クライアントPCから接続」
- 「2-4-2. OmniPassEE 管理コンソールから登録」

2-4-1. クライアントPCから接続

OmniPassEE クライアントをインスト ールした PC を、はじめて OmniPassEE サーバに接続すると、

クライアント PC 上で [OmniPass エン タープライズサーバ]が検出されます。

クライアント PC を OmniPassEE サーバ に接続して使用するために、

「このコンピュータをOmniPass エンタ ープライズサーバと接続します。」 を選択します。

エンタープライ	イズサーバを検出	はしました	
?	このドメインでOmniPassエンターブライズサーバが検出されました。このコンピュータの設 定を選択してください。		
0	・このコンピュー OmniPassエン ーザーのユー	タをOmniPassエンターブライズサーバと接続します。 ゆーブライズサーバにコンピュータを追加する権限を持つ、OmniPassユ ザー名とバスワードを指定してください。	
	ユーザー バスワード:	administrator	
4	メイン	OPEE7 💌	
	□ 私は Omn	iPassクライアントアクセスライセンス(CAL)を所有しています。	
0	- このコンピュー タは、「スタンド	タをOmniPass エンターブライズサーバに接続しません。このコンピュー アロンJクライアント モードで動作します。	
		ОК	

このとき、OmniPassEE サーバに接続するために OmniPassEE 管理者のユーザ名とパスワードが必要になります。

「このコンピュータを OmniPass エンタープライズサーバに接続しません。このコンピュー タは、「スタンドアロン」クライアントモードで動作します。」

を選択すると、OmniPassEE クライントは OmniPassEE サーバに接続せず、この PC 上でスタ ンドアロンモードとして動作します。

スタンドアロンモードの場合、OmniPassEE に接続するためにはクライアント PC の OmniPass を再インストールする必要がありますのでご注意ください。



2-4-2. OmniPassEE 管理コンソールから登録

OmniPassEE クライアント PC の管理には、OmniPassEE サーバ PC にインストールされた OmniPass Management Console を使用します。

(「すべてのプログラム」-「Softex」-「OmniPass 管理コンソール」を起動します。) OmniPassEE クライアント PC は OmniPass Management Console から登録することができます。

STEP 1

「端末」を右クリックし「ドメイン端末 を追加」を選択します。



「コンピューターの選択」画面が表示 されますので、「詳細設定」をクリック します。

STEP 3

「検索」をクリックします。



STEP 4

追加するクライアント PC を選択して 「OK」をクリックします。

	オブジェクトの種業員(①).
物/f(0)指定(上): opee7ratoc.com	
ペロジンマンシンペンシングンペンシングンペンシング・1000000000000000000000000000000000000	<u> 教権(1)</u> 学 (1) デ
	ОК + + + > tzu
検索結果(U): 2前(RDN) フォルダー DRDE-VP come 7 atop com	

STEP 5

選択したクライアントPCが表示されて いることを確認し「OK」をクリックし ます。

STEP 6

追加に成功したことを確認し「OK」を クリックします。



認証登録バッチ処理ステータス	
わジェ外名	
VISTA-PC	成功
登録されたオフジェ外の数:1	
	100 %
OK	キャンセル

STEP 7

以上でクライアント PC の追加は完了です。





2-4-3. OmniPassEE クライアント PC の接続状態表示内容

OmniPassEE クライアントがインス トールされ、正常に OmniPassEE サーバ に接続されると、タスクトレイに「鍵 とコンピュータのアイコン」が表示さ れます。



タスクトレイのアイコンは、OmniPassEE サーバと OmniPassEE クライアント PC の接続状態を表示しています。



OmniPassEE サーバと正常に接続されています。

接続



切断

OmniPassEE サーバと接続されていない状態です。

この状態で新規に登録された情報は、一時的に OmniPassEE クライアント PC のロー カルディスクに保存されます。



OmniPassEE サーバに再接続中です。OmniPassEE サーバのユーザ情報を更新しています。(アイコンの PC の画面が点灯します。)

再接続中



OmniPassEE サーバと接続していません。OmniPassEE クライアントはスタンドアロ ンモードで実行され、全てのユーザ情報は PC のローカルディスクに保存されます。

スタンド アロン

- OmniPassEE クライアント PC が OmniPassEE サーバに接続していない場合でも、ログインや暗号化ファイルの操作が行えるように、クライアントユーザが指紋登録を行った PC のローカルディスクにもクライアントユーザの指紋情報が保存されています。
- OmniPass をスタンドアロンモードとしてインストールした場合、OmniPassEE に接続するため にはクライアント PC の OmniPassEE クライアントアプリケーションを再インストールする必 要がありますのでご注意ください。



2-5. OmniPassEE クライアントユーザの登録

クライアントユーザの OmniPassEE サーバへの登録には、次の2通りの方法があります。

- 「2-5-1. OmniPassEE クライアント PC から登録」
- 「2-5-2. OmniPassEE 管理コンソールから登録」

(OmniPassEE クライアント PC から登録する場合は、接続するサーバで作成されたユーザ名・パス ワードが必要になります。登録を行う前に、必ずシステム管理者に正しい ID・パスワードを確認 して下さい。)

2-5-1. OmniPassEE クライアント PC から登録

STEP 1

クライアントアプリケーションのインスト ール後、はじめて OmniPassEE クライアント ユーザが OmniPassEE クライアント PC にロ グオンすると、[OmniPass 登録ウィザード] が起動しますので、

「開始」をクリックします。

初期設定では、ログオン時に毎回登録画面 が表示されます。以降、登録画面を表示し ない場合は「起動時にこの画面を表示」の チェックを外してください。



STEP 2

OmniPassEE クライアントユーザのユーザ 名、ドメイン名、パスワードを入力し「次 へ」をクリックします。



STEP 3

使用するデバイスを選択し「次へ」をクリ ックします。

(以降の登録内容はSREX-FSU2センサーでの 例となります。)



STEP 4

登録する指を選択し「次へ」をクリックし ます。 (指先を囲んでいる四角い点線をクリック すると、使用する指が選択できます。 指の選択画面には「練習」ボタンがあり、 クリックすると指紋のキャプチャを練習で きます。問題なくキャプチャされるようで したら、指紋の取得に進みます。

指の乾燥状態、傷などにより、指紋が 正しく認識されない場合があります。

STEP 5

画面の表示に従って指紋の取得を行いま す。





ł

STEP 6

登録が正常に完了すると

「登録に成功しました。」のメッセージが表 示されます。

「次へ」をクリックします。

指紋が赤色で表示され、「登録に失敗しました。」のメッセージが出る場合は、もう一度確認をやり直す必要があります。

STEP 7

「もう1本の指を登録することを推奨しま す。今すぐ追加で登録しますか?」の画面 が表示されます。

さらに別の指の指紋登録をする場合は「はい」 をクリックします。

STEP 4 の操作に戻り、異なる指で登録操作 を繰り返します。

STEP 8

指紋の登録が完了した場合は「セキュリティ認証デバイスの保存が完了しました。 OmniPass保存の完了に進んでください。」に チェックを入れ「次へ」をクリックします。

「その他のセキュリティ認証デバイスの保 存をするオプションを選択して、次に保存 する認証デバイスを選択できるページに戻 ります。」にチェックを入れ「次へ」をクリ ックした場合は、

STEP3 からの登録作業となり、指の追加登録 および他の認証デバイスでの登録を行うこ とができます。









STEP 9

サウンド、タスクバー、認証ウィンドウの 設定を行います。設定内容を確認し「次へ」 をクリックします。

🕝 🧇 ユーザ設定	
	 コンピュータでの作業時にComnPressで使用するさまざまなユーザ設定オブションを定義 することができます。 サウンドブロンフト サクンドブロンフト システムビーブ音のフロンフト サウンドブロンフトなし タスクバービントを表示 初心者モードのタスクバービント 上設者モードのタスクバービント タスクバービントを表示しない 認証ウィンドウを表示する 一番が遠明な認証ウィンドウを表示する
マルブ	

各種の OmniPassEE イベントをユーザに通知する方法を選択できます。 OmniPassEE クライアントの操作方法に慣れるまで、【サウンドプロンプト】を「WAV ファイルによるプロン プト」または「システムビープ音のプロンプト」に、【タスクバーヒントを表示】を「初心者モードタスクバ ーのヒント」に設定することをおすすめします。

[サウンドプロンプト]

「WAV ファイルによるプロンプト」: WAV ファイル音声による警告音を鳴らします。 「システムビープ音のプロンプト」:システムビープ音による警告音を鳴らします。 「サウンドプロンプトなし」: 警告音を OFF にします。

[タスクバーヒントを表示]

「初心者モードのタスクバーヒント」:詳細な説明を表示します。

「上級者モードのタスクバーヒント」:簡潔な説明を表示します。

「タスクバーヒントを表示しない」:タスクバーヒントを表示しません。

[認証ウィンドウ設定]

「不透明な認証ウィンドウを表示する」:認証時に表示されるウィンドウが不透明ではありません。

「一部が透明な認証ウィンドウを表示する」:認証時に表示されるウィンドウが不透明です。

STEP 10

以上で OmniPassEE クライアントユーザの登 録は完了です。 「完了」をクリックします。





2-5-2. OmniPassEE 管理コンソールから登録

OmniPassEE クライアントユーザの管理には、OmniPassEE サーバ PC にインストールされた OmniPass Management Console を使用します。

(「すべてのプログラム」-「Softex」-「OmniPass 管理コンソール」を起動します。)

OmniPassEE クライアントユーザは OmniPassEE 管理コンソールから登録することができます。

STEP 1

「ユーザ」を右クリックし「ドメインユ ーザを追加」を選択します。



STEP 2

「ユーザーの選択」画面が表示されま すので、「詳細設定」をクリックします。

STEP 3

「検索」をクリックします。



æ

STEP 4

追加する OmniPassEE クライアントユー ザを選択して「OK」をクリックします。

ユーサー の選択					<u>.</u>
オブジェクトの種类	師)選択(<u>S</u>):				
12-9-					オフシェクトの種類(の)
場所の指定(E):					
opee7ratoc.com	n				場所(<u>L</u>)
共通クエリ					
名前(<u>A</u>): []	かの文字で始まる	-			列(C)
	ー 欠の文字で始まる _	- i			検索(<u>N</u>)
- mahr-ts	マロネマも白いた(中)				中止(T)
	しいのアカリンド国				
□ 無期限の	パスワード(3)				
■ 無助化な ■ 無期限の 前回ログオン8	パスワード(<u>3</u>) ポスワード(3) 寺からの日数(1):				9 7
 一 無外には 「 無則形しの 前回ログオン 検索結果(1): 	パスワード(X) 寺からの日数(D:	_		OK	97
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(パスワード(X) 身からの日数(D) 一番子メール アド	7+11/2-	(OK	971 10-2211
	パスワード(X) 寺からの日数(D) 「電子メールアド」	マ フォルダー opee?ratoc.com	(ОК	971 13-2211
☆索結果(U): 名前(RDN) Guest	パスワード(X) 寺からの日数(D) 「電子メール アド_	マオルター フォルター opee7ratoc.com opee7ratoc.com	(ОК	97 30000
	(ペスワード(2) 赤からの日数(1): 「電子メールアド」	マオルダー opee7rato.com opee7rato.com opee7rato.com	<	ок	971 37501
	(パスワード(2) 特からの日数(1): 「電子メールアド」	マークション フォルダー opee7ratoc.com opee7ratoc.com opee7ratoc.com opee7ratoc.com	(ок	971 130-1214

STEP 5

選択した OmniPassEE クライアントユー ザが表示されていることを確認し「OK」 をクリックします。



STEP 6

追加に成功したことを確認し「OK」を クリックします。



STEP 7

以上で OmniPassEE クライアントユーザ の追加は完了です。



2-6. その他クライアントユーザ・PC の管理

OmniPass Management Console を使用して、OmniPassEE クライアントユーザ・PC の登録以外に、 OmniPassEE クライアントユーザの削除・エクスポート・インポート、OmniPassEE クライアント PC の削除を行うことができます。

[OmniPassEE クライアントユーザの削除]

STEP 1

削除する OmniPassEE クライアントユーザ名を 右クリックし「ユーザの削除」を選択します。



STEP 2

削除する場合は「はい」をクリックします。



STEP 3

以上で OmniPassEE クライアントユーザの削除 は完了です。





[OmniPassEE クライアントユーザのエクスポート]

STEP 1

エクスポートする OmniPassEE クライアントユ ーザ名を右クリックし「ユーザプロファイルの エクスポート」を選択します。



STEP 2

エクスポートするプロファイルに名前をつけて 保存します。

STEP 3

エクスポートするプロファイルを保護するため のパスワードを入力し「OK」をクリックします。

※ エクスポートしたプロファイルをインポー トする際に必要となりますので忘れないでくだ さい。

(このパスワードはWindowsおよびOmniPassEEでのユー ザパスワードとは関係ありません。

パスワードには空白もしくは任意の英数字を入力して ください。)

STEP 4

以上で OmniPassEE クライアントユーザのプロ ファイルのエクスポートは完了です。



バックアップファイルのパス	リワード	×
ユーザープロファイルの/ を設定してください。	ヾックアップファイルを保護するためのパスワード	
注: プロファイルのバックフ 安全な場所に保管してま は、このパスワードが必要	アップファイルと、ここで設定するパスワードを らいてください。プロファイルを復元する際に 犯たなります。	
パスワード:	*****	
パスワードの確認:	*****	
(ОК	





[OmniPassEE クライアントユーザのインポート]

※ OmniPass Management Console を使用してインポートされる OmniPassEE クライアントユーザ は、サーバ PC 上へローカルログオンできる権限が必要です。 (権限が無い場合は、OmniPassEE クライアント PC 上でのみプロファイルのインポートが可能です。 OmniPassEE クライアント PC 上でのプロファイルのインポート方法につきましては、各デバイスに付属され ている CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアルをご参照ください。)

STEP 1

「ユーザ」を右クリックし「ユーザインポート」 を選択します。



STEP 2

インポートするプロファイルを選択し「開く」 をクリックします。 ファイルの拡張子は".opi"です。

STEP 3

プロファイルをエクスポートする際に設定した パスワード(前頁参照)を入力し「OK」をクリッ クします。






STEP 4

インポートする OmniPassEE クライアントユー ザのユーザ名、ドメイン、Windows パスワード を入力して「次へ」をクリックします。

🕝 🚡 ੨-੯	ブロファイルの復元		×
0	このユーザーブロフ 定した認証情報を使 したプロファイルはこ	ァイルを復元するユーザー認識評情報を入力してください って新しいOmniPassプロファイルが作成され、バック7 の新しいユーザーアカウントに復元されます。	ぃ指 ^P ップ
	ユーザー名:	test01	
	ドメイン:	OPEE7	
	パスワード:		
	50442		
	1 Q-		
		*	
	OmniPass 7≯	ージメントコンソール 🗵	
	-		
	() I	ザインホート正常終了	
	U U		
		OK	

STEP 5

以上で OmniPassEE クライアントユーザのイン ポートは完了です。



[OmniPassEE クライアント PC の削除]

STEP 1

削除する OmniPassEE クライアント PC 名を右ク リックし「端末削除」を選択します。



STEP 2

削除する場合は「OK」をクリックします。

 「OK」をクリックすると、削除する OmniPassEEクライアントPCが再起動します。
 保存していないファイル等がある場合は

あらかじめ保存しておいてください。

OmniPass 7キージジントリソール X WARNING : Machine VISTA-PC will reboot when removed from OmniPass closed, Press OK when you are ready to remove VISTA-PC are closed, Press OK when you are ready to remove VISTA-PC from OmniPass Enteprise.

STEP 3

以上で OmniPassEE クライアン PC の削除は完了 です。



第三章 OmniPassEE の管理



3-1. OmniPassEE クライアントユーザの管理 <サーバ側>

OmniPass Management Console(サーバ側管理コンソール)から各 OmniPassEE クライアントユーザの各設定を行うことができます。

「スタートメニュー」から「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 管理コンソール」 を実行すると、OmniPass Management Console が起動します。



Fig. 3-1 OmniPass Management Console

「0mniPass」→「ドメイン名」→「ユーザ」→ 「クライアントユーザ名」の「設定」キーをクリックします。

次頁以降にて、各項目の説明と設定方法を解説します。



[各設定項目の変更方法]



Fig.3-2 OmniPass Management Console プロパティを表示

- ウィンドウ右側から設定を変更したい項目を選択し、右クリック→プロパティを選択、 またはダブルクリックしてその項目のプロパティを表示させます。
- Fig. 3-3 のようなプロパティが表示されますので「設定オプション」のプルダウンメニューから適用する項目を選択し「OK」をクリックします。

ユーザにタスクハシーヒント設定の編集を許可するのプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
」 ユーザリニタスクハービント設定の編集を許可する	
設定オプンョン:	
許可	
許可以ない	
OK キャンセル 近	新用(<u>A</u>)

Fig.3-3 項目のプロパティ



[OmniPassEE クライアントユーザ側での設定内容の確認]

サーバ側管理コンソールにて各 OmniPassEE クライアントユーザに設定された内容は、クライ アント側コンソールで確認することができます。

OmniPassEE クライアント PC のタスクトレイアイコンをダブルクリック、もしくは右クリック し「開く」をクリックするとクライアント側コンソールが起動します。



Fig. 3-4 クライアント側コンソール起動方法

Fig. 3-5 クライアント側コンソール

ユーザにタスクバーヒント設定の編集を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによる、タスクバーヒント設定の変更を禁止また は許可します。

(※ 「ユーザに表示するタスクバーヒントの変更」の各内容については、次ページの説明をご参照ください)

- 「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザに表示するタスクバーヒントの変更」 が表示されます。
- 「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザに表示するタスクバーヒントの変更」 が表示されず、OmniPassEE クライアントユーザはタスクバーヒントの設定を 行うことができません。

ユーザにタスクバーヒント設定の編集を許可するのプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
' ユーサ1こなスクハニセント設定の編集を許可する	
設定わられど	
許可	
許可	
<u>11-10-80</u>	
OK キャンセル 適用	Ħ(<u>A</u>)

 C OrmEPses > 1- サ版を
 アクタョン
 現在のユーサのログアや・ ● ユーサー四の切り焼え ▲ パスワードウィサード… ● 休報 ● 小財ブ ユーサガモ ● ユーサニーディオ設定の変更 ● ユーサに表示するなスクバービナトの変更 ● ユーサに表示するなスクバービナーの変更 ● ユーサに表示するなスクバービナーの変更 ● ユーサにのな変更 ● ユーサに表示するなスクバービナーの変更 ● ユーサに表示するなスクバービナーの変更 ● ユーサのがためな変更 ● ユーサンクがの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンのがの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンの換 ● ユーサンのの変更 ● ユーサンの ● ユーサンのの ● ユーサンの ● ユーサンの ● ユーサンのの ● ユーサンのの ● ユーサンの ● ローサンの ● ユーサンの ● ユーサンの ● ローサンの ● ユーサンの ● ユーサンの ● ローサート ● ユーサンの ● ユーサン

Fig. 3-6 サーバ側管理コンソール

Fig.3-7 クライアント側コンソール



現在のタスクバーヒント設定値

デフォルト設定:「初心者モード」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザのタスクバーヒント設定を変更します。 「初心者モード(初心者モードのタスクバーヒント)」 -- 詳細な説明を表示します 「上級者モード(上級者モードのタスクバーヒント)」 -- 簡潔な説明を表示します 「ヒントを表示しない(タスクバーヒントを表示しない)」-- タスクバーヒントを表示しません。

現在のタスりバーヒント設定値のブロパティ	? ×	
1 ⁶ 設定	C C OmniPass >	ユーザ設定 > タスクバービント
現在のタスクハ ² ービント設定値 設定打 ⁵ /aン 初心者モード ご 「 記 し 新 た お モード こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<u>アクション</u> 現在のユーザのログアウト 現在のユーザのログアウト	 マーザに表示するタスクパーセントの変更 御ふ者モードのタスクパーヒント 低いタスクバービントによって、OmmPassの動作や注意を説明します。 上級者モードのタスクバービント 低いタスクパービントによって、OmmPassの動作や注意を説明します。 タスクパービントを表示しません。
OK キャンセル 適用	バージョン: 7,00.66 ビルド番号: A01131309	

Fig.3-8 サーバ側管理コンソール

Fig. 3-9 クライアント側コンソール

OmniPassEE クライアントユーザ側でタスクバーヒントの設定値を変更させるには、前頁の「ユー ザにタスクバーヒント設定の編集を許可する」を「許可」に設定する必要があります。



ユーザにオーディオ設定の編集を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザにオーディオ設定の変更を禁止または許可します。

(※ 「ユーザオーディオ設定の変更」の各内容については、次ページの説明をご参照ください)

- 「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザオーディオ設定の変更」が表示されま す。
- 「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザオーディオ設定の変更」が表示されず、 OmniPassEE クライアントユーザはユーザオーディ設定の変更を行うことがで きません。

ユーザにオーディオ設定の編集を許可するのプロパティ	<u>? ×</u>
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
' ユーサ1こオーディオ設定の編集を許可する	
設定材でション	
許可	
許可	
11-10-80	
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)



Fig. 3-10 サーバ側管理コンソール

Fig. 3-11 クライアント側コンソール

現在のオーディオ設定値

現在のオーディオ設定値のブロパティ

現在のオーディオ設定値

🎦 設定

設定オフション: WAVサウント^{*} サウント*なし ビーフ*音 WAVサウント^{*} デフォルト設定:「WAV サウンド」

- この設定では、OmniPassEE クライアントユーザのオーディオ設定を変更します。
- 「WAV サウンド (WAV ファイルによるサウンドプロンプト)」-- WAV ファイル音声による警告音を 鳴らします。

? ×

適用(A)

「ビープ音 (ビーププロンプトのみ)」

「サウンドなし(サウンドプロンプトなし)」

-- システムビープ音による警告音を
 鳴らします。
 -- 警告音を 0FF にします。

アクション 現在のユーザのログアクト。 コーザー四の切り感え イバスワードウィザード… 休報 マーザ客班 オーザ客班 #460ユーザ: #470 のPET パージョン詳細 パージョン詳細 パージョン詳細 パージョン詳細 パージョン詳細	 シューザオーディオ設定の変更 WAVファイルによるサウンドブロンプト Omm?#audit(中に電を除らします、コントロールパネルの「サウンドとオ・ディボディ(スのプロパティ)ののmm?#audit(やりご)の設定によって、除らすきを変更できます。 ビーブブロンプトのみ Omm?#audit(中にビンステムビーブ音を除らします。 サウンドブロンプトなし Omm?#audit(中に管は除りません。
ビルド番号:	-
	an and

Fig. 3-12 サーバ側管理コンソール

キャンセル

OK

Fig. 3-13 クライアント側コンソール

OmniPassEE クライアントユーザ側でユーザオーディオ設定の変更をさせるには、前頁の「ユーザ にオーディオ設定の編集を許可する」を「許可」に設定する必要があります。



×

ユーザに OmniPass への新規ユーザ追加を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによる新規ユーザの追加を禁止または許可しま す。

「許可」 -- クライアント側コンソールに「新規ユーザを OmniPass に追加」が表示されま す。

「許可しない」-- クライアント側コンソールに「新規ユーザを OmniPass に追加」が表示されず、 OmniPassEE クライアントユーザは新規ユーザを追加することができません。

ユーザにOmniPassへの新規ユーザ追加を許可するのプロパティ	<u>? ×</u>	ザー管理ウィザードメニュー
"`````````````````````````````````````		ユーザー管理ウィザードを使って実行する機能を選択してくたれい。ほとんどの機能で は、作業が完了すればユーザー管理ウィザードは自動的に除了します。
ューサミこOmniPassへの新規ユーザ追加を許可する	No confi	A 新規ユーザをOmniPassl ご追加
		OmniPassからユーザを削除
設定わ%は、		🔯 ユーザのOmniPassプロファイルのバックアップ
		😪 ユーザのOmniPassプロファイルの復元
許可しない		💕 ユーザーのデバイス登録の変更
	EP/AN	
	用(型	K MI
	マルフ	完了

Fig.3-14 サーバ側管理コンソール

Fig. 3-15 クライアント側コンソール。



ユーザに OmniPass からのユーザ削除を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによるユーザの削除を禁止または許可します。 「許可」 -- クライアント側コンソールに「OmniPass からユーザを削除」が表示されます。 「許可しない」-- クライアント側コンソールに「OmniPass からユーザを削除」が表示されず、 OmniPassEE クライアントユーザはユーザを削除することができません。

ŀ	ーザにOmniPassからのユーザ剤除を許可するのブロパティ	? ×
	12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	
	' ユーサ1こOmniPassからのユーサ削除を許可する	
	設定わりすい	
	許可	
	OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

Fig. 3-16 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-17 クライアント側コンソール



ユーザに OmniPass へのユーザプロファイルの復元を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによるユーザプロファイルの復元を禁止または許可します。

「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザの OmniPass プロファイルの復元」が表示されます。

「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザの OmniPass プロファイルの復元」が表示されず、OmniPassEE クライアントユーザはユーザプロファイルの復元を行うことができません。

ユーザにOmniPassへのユーザプロファイルの復元を許可するのブロバ 🤮	×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
' ユーサ1こOmniPassへのユーサフロファイルの復元を許可する	
設定オフジョン	
許可	
OK キャンセル 通用(A)	

Fig. 3-18 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-19 クライアント側コンソール

ユーザに OmniPass からのユーザプロファイルのバックアップを許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによるユーザプロファイルのバックアップを禁止 または許可します。

- 「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザの OmniPass プロファイルのバックアッ プ」が表示されます。
- 「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザの OmniPass プロファイルのバックアッ プ」が表示されず、OmniPassEE クライアントユーザはユーザプロファイルの バックアップを行うことができません。

ユーザにOmniPassからのユーザフ加ファイルのバックアッフを許可するの… <mark>?</mark> 🗙
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
' ユーサミこOmniPassからのユーサブロファイルのパックアッフを許可する
設定わ?ション:
許可
許可 許可 許可 に ない
OK キャンセル 通用(A)

Fig. 3-20 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-21 クライアント側コンソール



ユーザに暗号化・復号化設定の編集を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによるファイル暗号化時の設定変更を禁止または 許可します。

 「許可」 -- クライント側コンソールに「ファイル暗号化設定の変更」が表示されます。
 「許可しない」-- クライント側コンソールに「ファイル暗号化設定の変更」が表示されず、 OmniPass クライアントユーザは暗号化時の設定を変更することができません。

ユーザに暗号化・復号化設定の編集を許可するのフロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
' ユーザ1ご暗号化・復号化設定の編集を許可する	
設定わ?ション:	
許可	
計可 許可(ない)	
UK 4772/ :	旭用(百)

Fig.3-22 サーバ側管理コンソール

() (OmniPass >)	
アウション	 ▲ - ザ設定の変更 ▲ - ザオーティオ設定の変更 ▲ - ザに表示するタスクバービルの変更 認証ウィンドウ設定の変更
◆ 現在のユーザ: aud) DFE7 アメイン: ハージョン注册 パージョン: 7.00.65 ビルド番号: A01131300	 ファイル毎号化設定の変更 ユーザ認証規則とポリシーの設定

Fig. 3-23 クライアント側コンソール



ユーザに認証デバイスの登録・編集を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによる認証デバイスの登録を禁止または許可します。

「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザーのデバイス登録の変更」が表示され ます。

「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザーのデバイス登録の変更」が表示され ず、OmniPassEE クライアントユーザは認証デバイスを登録することができま せん。

ユーザに認証デバイスの登録・編集を許可するのフロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
ユーサーに認証デバイスの登録・編集を許可する	
設定力?ション:	
許可	
計可 許可しない	
のK キャンセル 適	用(<u>A</u>)

Fig. 3-24 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-25 クライアント側コンソール



ユーザに認証規則とポリシーの設定を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによる認証規則の設定変更を禁止または許可します。

「許可」 -- クライアント側コンソールに「ユーザ認証規則とポリシーの設定」が表示されます。

「許可しない」-- クライアント側コンソールに「ユーザ認証規則とポリシーの設定」が表示されず、 OmniPassEE クライアントユーザは認証規則の設定を行うことができません。

ユーザに	認証規則とホリシーの設定を許可するのフロパティ	? ×
1	設定	
יב	' -サ1=認証規則とホリシーの設定を許可する	
ĒŞ	定わジョン	
E.	म् ज	
ii R	可しない	
U		
	OK ++>>セル	適用(<u>A</u>)

Fig. 3-26 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-27 クライアント側コンソール

暗号化・復号化操作時の警告を表示

デフォルト設定 :「警告を表示しない」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザがファイルやフォルダを暗号化する時の、警告の 表示・非表示を決定します。

「警告を表示」 -- 暗号化時に警告が表示されます。

「警告を表示しない」-- 暗号化時に警告は表示されません。

暗号化・復号化操作時の警告を表示のプロパティ	? ×	OmniPass		×
1 設定	1		警告:OmniPassのアンインストール、ハードディスク ディスクの取り外し、OS の再インストール等の操作 OmniPassで暗号化したファイルを全て復号化し、リ CD-R、USBストレージデバイス等)にバックアップし	の再フォーマット、ハード 落行う場合は、あらかじめ ムーバブルメディアく てください。
暗号化・復号化操作時の警告を表示			🔲 この警告を再表示しない	ОК
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
C30/10/00/				
OK キャンセル 道用	(<u>A</u>)			
Fig.3-28 サーバ側管理コンソール		Fig	:. 3-29 クライアント側	警告表示

クライアントユーザのパスワード記憶情報を管理者にも公開、編集を可能とする デフォルト設定:「可能としない」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが OmniPass を使用して登録する Web・アプリの アカウント情報を、OmniPassEE 管理者に閲覧・編集可能とするか禁止するかを設定します。

この設定を行った後に記憶された登録情報について有効になります。

設定以前に登録されたページについては適用されません。

「可能とする」 -- OmniPassEE 管理者はユーザが記憶させたページの内容を閲覧・編集・コピ ーすることができます。(公開)

「可能としない」-- OmniPassEE 管理者はユーザが記憶させたページの内容を閲覧・編集・コピ ーすることができません。(非公開)

ライアントユーザのハ*	スワート記憶情報	を管理者にも公開、	編集を可… <mark>?</mark>)
🌇 設定			
クライアントユーザの する	いペスワート記憶情報	服を管理者にも公開、	編集を可能と
設定わられ			า
可能としない 可能とする		a.	
			· (4)
		177/01	(四)市(円)

Fig. 3-30 サーバ側管理コンソール

※ アカウント情報管理の詳細につきましては、「4-2. OmniPassEE クライアントユーザのアカウ ント情報管理について」をご参照ください。



ユーザに OmniPass 終了を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザによる OmniPass クライアントの終了を許可また は禁止します。

「許可」 -- OmniPass を終了することができます。

「許可しない」-- 「終了」が表示されなくなり、OmniPassを終了することができません。

ユーザにOmniPass終了を許可するのプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
」 ユーサiこOmniPass終了を許可する	
設定オプション	
許可	
許可 許可しない)	
OK	適用(<u>A</u>)

Fig. 3-31 サーバ側管理コンソール

	開<(O)
	ユーザーのログオン(L)
	ユーザーのログアウト(C)
	ユーザーIDの切り替え(S)
	パスワードの記憶(R)
	ヘルプ(H)
	バージョン情報(A)
	終了
-(14:32 2011/04/25

Fig. 3-32 クライアント側コンソール

	開<(0)
	ユーザーのログオン(L)
	ユーザーのログアウト(C)
	ユー <mark>ザーIDの切り替え(</mark> S)
	パスワードの記憶(R)
	ヘルプ(H) バージョン情報(A)
- 🧔	14:30

Fig. 3-33 クライアント側コンソール

認証に必須とされているデバイスが見つからない場合

デフォルト設定:「認証を許可しない」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが認証時に必須とされているデバイスが接続されていない場合に、認証動作を禁止するかマスターパスワードにて認証を行なうかを決定します。 「認証を許可しない」 -- 認証に必須とされているデバイスが見つからない場合

はエラーとなり認証動作を行えません。

「マスターパスワードで認証する」 -- 認証に必須とされているデバイスが見つからない場合 はマスターパスワードにて認証を行えます。

認証に必須とされているデバイスが見つからない場合のプロパティ	<u>?</u> ×
12 設定	
認証に必須とされているデバイスが見つからない場合	
設定わらた	
認証を許可しない マスターパンワートで認証 認知が許可しない	
OK キャンセル 道月	(<u>A</u>)E

Fig.3-34 サーバ側管理コンソール

😧 ユーザーログオンの認証-認証失敗!	۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲. ۲
③ SREX-FSU2 指紋センサー	- \$\$

Fig. 3-35 クライアント側コンソール

また、デバイスが見つからない・センサが故障した等の理由で認証できない場合は、後述の「ユ ーザの緊急ポリシーオーバーライド」設定で認証することも可能です。

(緊急ポリシーオーバーライドの設定方法につきましては、指紋センサ添付のユーザーズマニュアルをご参照ください。)



ユーザに OmniPass からのログアウトを許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPass にログオンした OmniPassEE クライアントユーザが、OmniPass からのロ グアウトを許可するかどうかを設定します。

「許可」 -- OmniPass からログアウトすることができます。

「許可しない」--「ユーザーのログアウト」の表示がグレー表示となり、クライアントユーザは OmniPass からログアウトすることができません。

ユーザにOmniPassからのロケアウトを許可するのプロパティ	? ×
🖀 設定	
ューサミこOmniPassからのロケアウトを許可する	
設定わ ⁵ 92:	1
許可しない	<u> </u>
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

Fig. 3-36 サーバ側管理コンソール

		開く(0)
		ユーザーのログオン(L)
		ユーザーのログアウト(C)
		ユーサーIDの切り替え(S)
		ヘルプ(H)
		バージョン情報(A)
		終了
•	R	No 14.32

Fig. 3-37 クライアント側コンソール



Fig. 3-38 クライアント側コンソール



ユーザにパスワードの記憶を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが Web やアプリケーションの ID/パスワードを記 憶することを許可または禁止します。

「許可」 -- Web やアプリケーションのログイン情報を記憶することができます。

「許可しない」-- 「パスワードの記憶」が非表示となり、Web やアプリケーションのログイン情報を記憶させることができません。

ユーザにハ*スワート゛の記憶を許可するのブロパティ	<u>? ×</u>
福 設定	
' ユーザ1こパスワート*の記憶を許可する	
設定わられ	
OK をゃンセル 適用	I(<u>A</u>)

Fig.3-39 サーバ側管理コンソール

ľ	開<(0)
	ユーザーのログオン(L) ユーザーのログアウト(C) ユーザーIDの切り替え(S)
	パスワードの記憶(R)
	ヘルプ(H) バージョン情報(A) 終了
- 0	4:32 🔹 🛱 🛱 🙀 14:32

Fig. 3-40 クライアント側コンソール

	開<(0)
	ユーザーのログオン(L) ユーザーのログアウト(C) ユーザーIDの切り替え(S)
	ヘルプ(H) バージョン情報(A)
•	₩ I 16:32 16:32 2011/04/25

Fig. 3-41 クライアント側コンソール



ユーザの緊急ポリシーオーバーライド

デフォルト設定:「無効」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが認証できない場合(認証時に必須とされているデ バイスが接続されていない場合やマスターパスワードを忘れた場合など)、「ログインできません」 をクリックすることにより、OmniPassEE サーバ側が発行する認証コードまたは OmniPassEE クライ アントユーザ側であらかじめ設定した認証用の質問と回答で認証することができます。

- 「無効」 -- この機能を使用することができません。
- 「認証コード発行」-- OmniPassEE サーバ側で発行された認証コードで認証することができます。

「ユーザ定義」 -- OmniPassEE クライアントユーザ側で設定した認証用の質問と回答で認証す ることができます。

(緊急ポリシーオーバーライドの設定方法につきましては、指紋センサ添付のユーザーズ マニュアルをご参照ください。)

ザの緊急ホリシーオーバーライドのブロバティ	?× (ユーザーログオンの認証-認証失敗!	ComniPass
渝 設定	0	SREX-FSU2 指紋センサー	H252C6
ユーザの緊急ホリシーオーバーライト			
設定打 [%] 3 ^{);}			
無効 無効			
認証リート 死け ユーザ定義] []		
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)		
Fig.3-42 サーバ側管理コンソ	ール	Fig.3-43 クライアント	側コンソール

※ 「認証コード発行」設定の詳細につきましては、「4-3. OmniPassEE クライアントユーザの緊急 ポリシーオーバーライド設定について」をご参照ください。



デフォルト設定:「1回」

この設定では、前項の「緊急ポリシーオーバーライド」機能を使用して認証できる期間を設定しま す。

緊急ホリシーオーバーライトでの有効期間のプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
緊急ホリシーオーバーライドの有効期間	
設定オプジョン	
UK キャンセル 適	用田

Fig.3-44 サーバ側管理コンソール



ユーザパスワードの期限が切れた時のパスワード設定

デフォルト設定:「手動」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザの Windows ログオンパスワードの有効期間が切れた時、OmniPassEE クライアントユーザのパスワード設定方法を決定します。

- 「手動」-- クライアントユーザ側で新しい Windows ログオンパスワードを設定する画面が出力さ れます。
- 「自動」-- サーバ側の「パスワードのポリシー」に従って 64 文字のパスワードが自動生成され ます。

(※ パスワードのポリシーはWindows スタートメニューより「管理ツール」→「ローカルセキュリ ティポリシー」→を開き「アカウントポリシー」→「パスワードのポリシー」で確認することがで きます。[Windows Server2008R2 の場合])

生成されたパスワードを確認することができませんので、OmniPassEE サーバ管理者 は OmniPassEE クライアントユーザの Windows ログオンパスワードを再設定してくだ さい。

יב	・ザペスワードの期限が切れた時のペスワード設定のプロパティ	? ×
-	🏠 設定 📔	
	・ ユーザハ°スワートでの期限が切れた時のハ°スワート語定	
	設定オブション:	
	手動	
	手動	
	OK キャンセル 道	用(A)

Fig. 3-45 サーバ側管理コンソール

ユーザに緊急ポリシーオーバーライド使用後にパスワードの変更を許可する デフォルト設定:「許可しない」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが「緊急ポリシーオーバーライド」の機能を使用後、 Windows ログオンパスワードの変更を許可するか禁止するかを設定します。

「許可する」 -- OmniPassEE クライアントユーザ側で Windows ログオンパスワードを変更する画 面が出力されます。

「許可しない」 -- Windows ログオンパスワードは変更されません。

ユーザに緊急末ツシーオーハ゛ーライト゛使用後にハ*スワート゛の変更を許可… <mark>?</mark> メ
摘 設定
ューサリニ緊急ホリシーオーハーライト"使用後にハペスワート"の変更を許可する
設定オ7%aン: 計可したL)
計可した() 許可 許可
OK キャンセル 適用(A)

Fig. 3-46 サーバ側管理コンソール

OmniPass - Windowsパスワードの更新					
ユーザー名: ドメイン:	test10 OPEE7				
新規パスワード: 新規パスワードの確認:	******				
OK(<u>0</u>)	キャンセル(<u>C</u>)				

Fig. 3-47 クライアント側コンソール



強制登録に失敗した時の措置

デフォルト設定:「措置しない」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが「デバイスの強制登録」をキャンセル、または 失敗した際の対応措置を設定します。

※「デバイスの強制登録」については、後述の3-3.認証デバイスの設定をご参照ください。

「措置しない」 -- OmniPassEE クライアント PC に対しては何も行いません。

「ログオフ」 -- OmniPassEE クライアント PC をログオフします。

「シャットダウン」-- OmniPassEE クライアント PC をシャットダウンします。

強制登録に失敗し	た時の措置のフロバ	<u>7</u> ₁	? ×
🏠 設定			
強制登録に失調	ぬした時の措置		
設定わジョン			_
措置しない			-
措置しない			
ログオフする	አልነት ነ		
(4/C1 /C/()			-
	OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)

Fig. 3-48 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-49 クライアント側コンソール [ログオフ]



Fig. 3-50 クライアント側コンソール [シャットダウン]



このオブジェクトのアドミニストレータ

デフォルト設定:「無効」

この設定では、選択されている OmniPassEE クライアントユーザの管理者として、任意の OmniPassEE クライアントユーザを追加することができます。

「選択」をクリックし追加する OmniPassEE クライアントユーザを指定します。

(「2-5-2. OmniPass Management Console から追加」の STEP2 からの手順と同様に OmniPassEE クライアントユー ザを選択します。)

リストにユーザを追加することで設定値は有効となります。

リストからユーザをすべて削除すると、設定値は無効になります。

右図は「test01」ユーザの設定で、「test03」 を追加した例です。

「test03」はサーバ PC ヘローカルログオン 後にサーバ側管理コンソールにて「test01」 の各設定を行うことができます。

このオブジェクトのアトミニ	ストレータ			×
POPEE/#test0a				
選択(<u>S</u>)	選択削除(<u>R</u>)	1 元了	* *	VEN(C)
			1000	

Fig. 3-51 サーバ側管理コンソール

この設定で追加されたユーザ以外は、サーバ側管理コンソールでこのユーザを管理することができなくなります。設定を解除するためには、[このオブジェクトのアドミニストレータ]リストに指定されたユーザとしてサーバ PC にローカルログオンし、リストからユーザ名を削除する必要があります。

サーバ PC にローカルログオンする際、ユーザにはドメイン管理者の権限を与える必要があります。



共有リスト内のデフォルトユーザ

デフォルト設定:「無効」

この設定では、リストに OmniPassEE クライアントユーザを追加し、この OmniPassEE クライアン トユーザがファイルやフォルダを暗号化すると自動的に共有ユーザとして設定されます。

「選択」をクリックし追加する OmniPassEE クライアントユーザを指定します。

(「2-5-2. OmniPass Management Console から追加」の STEP2 からの手順と同様に OmniPassEE クライアントユー ザを選択します。)

リスト内にユーザを追加すると、この設定は「有効」となります。

リスト内にユーザが存在しない状態では、この設定は「無効」となります。

この設定を行った後に暗号化されたファイルやフォルダについて有効になります。 設定以前に暗号化されたファイルやフォルダについては適用されません。

共有リスト内のデフォル	ユーザ		×
OPEE7¥test03			
選択(S)	選択削除(<u>R</u>)	完了	キャンセル(<u>C</u>)

Fig. 3-52 サーバ側管理コンソール

🥵 ユーザーの	選択		X
OmniPassは、暗ち オルダを表示、値	号化ファイルを他のOmniPassユーザーと 変正、および削除できるようこしたいユー	共有できるようにします。選択したフ ザーを選択してください。	ァイルまたはフ
チェック:	OPEE7	• ユーザ	ーの追加
ユーザー名:			/
次のユーザーは す。	、選択したファイルまたはフォルダを表	示、修正、および削除する権限を与え	られていま
OPEE7/test01			
OPEE7\test03	J		
		ユーザーの削除	OK

Fig. 3-53 クライアント側 OmniPass 暗号化ファイル共有設定 (共有ユーザとして設定されたユーザは、あらかじめ 共有リストに追加されています。)



3-2. 認証デバイスの管理 <サーバ側>

OmniPass Management Console(サーバ側管理コンソール)から各 OmniPassEE クライアントユーザの認証デバイスの各設定を行うことができます。

「スタートメニュー」から「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 管理コンソール」 を実行すると、OmniPass Management Console が起動します。



Fig. 3-54 OmniPass Management Console

「OmniPass」→「ドメイン名」→「ユーザ」→ 「クライアントユーザ名」→「認証デバイス」 →「使用デバイス」の「設定」キーをクリックします。 次頁以降にて、各項目の説明と設定方法を解説します。

ユーザに自分のコンピュータからこの認証デバイスを登録することを許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが認証デバイスを使用して指紋登録することを許可または禁止します。

- 「許可」 -- OmniPassEE クライアントユーザは認証デバイスを使用して指紋登録することができます。
- 「許可しない」 -- OmniPassEE クライアントユーザは認証デバイスを使用して指紋登録することができません。

ユーザに自分のコンピ	ュータからこの認証テ	いイスを登録する	ことを許可… <mark>?</mark> ×
🌇 設定			
ユーザに自分のコ する 設定オプション:	というからこの認識	证テンバイスを登録する	ることを許可
許可 許可 許可しない]	-
	ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

Fig.3-55 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-56 クライアント側コンソール 設定が「許可しない」の場合



認証デバイス有効・無効状態

デフォルト設定:「有効」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが登録している認証デバイスを有効または無効と します。

「有効」-- OmniPassEE クライアントユーザは認証デバイスを使用することができます。

「無効」-- OmniPassEE クライアントユーザは認証デバイスを使用できません。

認証デバイス有効・無効状態のブロパティ	? ×
摘 設定	
認証デバイス有効・無効状態	
設定オフジョン:	
有効	
有効	
OK キャンセル 適	用(A)

Fig.3-57 サーバ側管理コンソール



Fig. 3-58 クライアント側コンソール 設定が「無効」の場合



このデバイスを使用した登録をユーザに強制する

デフォルト設定:「いいえ」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが OmniPassEE サーバにログオンした際、強制的 にこの認証デバイスでの登録を行わせることができます。

[次のログインでデバイスを強制登録]にチェックを入れると、この設定の値は「はい」になりま す。

「ユーザがログオンした最初の端末でデバイスを強制登録」

-- この設定が行われた後、OmniPassEE クライアントユーザが初めて OmniPassEE クライアント PC にログオンした時に指紋登録を行わせます。

「ユーザがログオンした全ての端末でデバイスを強制登録」

この設定が行われた後、OmniPassEE クライアントユーザがログオンした全ての OmniPassEE
 クライアント PC で指紋登録を行わせます。

「指定された端末でユーザがログオンした時デバイスを強制登録」

-- この設定が行われた後、指定された OmniPassEE クライアント PC に OmniPassEE クライアン トユーザがログオンした時に指紋登録を行わせます。

このデバイスを使用した登録をユーザに強制するのプロパティ	? ×
📚 SREX-FSU1 Fingerprint Sensor	
▼ 次のロケインでデハイスを強制登録	
 ユーサがログオンした最初の端末でデバイスを強制登録。 	
○ ユーザガロケオソした全ての端末でデバイスを強制登録。	
C 指定された端末でユーザガログオンした時 デバイスを強制登録。	
OK キャンセル 適用	<u>(A)</u>

Fig.3-59 サーバ側管理コンソール

③ 指の選択	
27	金持ずる指告違詞していたまし
	神智 次へ

Fig. 3-60 クライアント側コンソール [ログオン後に表示される指紋登録画面]



3-3. OmniPassEE クライアントPC の管理 <サーバ側>

OmniPass Management Console(サーバ側管理コンソール)から各 OmniPassEE クライアント PC の 各設定を行うことができます。

「スタートメニュー」から「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 管理コンソール」 を実行すると、OmniPass Management Console が起動します。



Fig. 3-61 OmniPass Management Console

「0mniPass」→「ドメイン名」→「端末」→ 「PC名」の「設定」キーをクリックします。 次頁以降にて、各項目の説明と設定方法を解説します。



このマシーンでの起動オプションの変更を許可する

デフォルト設定:「許可」

この設定では、OmniPassEE クライアントユーザが「OmniPass 起動オプションの変更」の設定を 変更することを許可または禁止する。

(※「0mniPass 起動オプションの変更」の各内容については、次ページの説明をご参照ください)

-- OmniPassEE クライアントユーザは「OmniPass 起動オプションの変更」の設定 「許可」 を変更することができます。

「許可しない」-- OmniPassEE クライアントユーザは「OmniPass 起動オプションの変更」の設定 を変更することができません。

このマシーンでの起動オプションの変更を許可するのプロパティ	? ×
16 設定	
	1
このマシーンでの起動オプションの変更を許可する	
設定オプション:	
मिता म	
許可しない	
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

アクション 引 現在のユーザのログアウト の ユーザーDDの切り勝え	🛃 システム設定の変更
▲ パスワードウィザード… ♥ 情報 ② ヘルプ	この読定を変更する権限がありません。
<u>ユーザ情報</u> 没在のユーザ: yama01 ドメイン: OPEE7	
<u>パージョン詳細</u> バージョン: 7.00.66	
ビルド番号: A01131309	and and

Fig. 3-62 サーバ側管理コンソール Fig. 3-63 クライアント側コンソール 設定が「許可しない」の場合



現在の起動オプション設定値

デフォルト設定:「OmniPass に自動的にログオン」

この設定では、この OmniPassEE クライアント PC にログオンした OmniPassEE クライアントユー ザが、どのようにして OmniPassEE ヘログオンするかを設定します。

「OmniPass に自動的にログオン(現在の Windows ユーザとして OmniPass に自動的にログオンする)」

-- OmniPassEE クライアント PC ヘログオンした OmniPassEE クライアントユーザとして、 OmniPassEE に自動的にログオンします。

「手動ログオン(起動時に手動で OmniPass にログオンする)」

-- OmniPassEE クライアント PC ヘログオンした後に、手動で OmniPassEE ヘログオンします。

- 「ログオンしない(起動時に OmniPass にログオンしない)」
- -- OmniPassEE クライアント PC ヘログオンした後は、OmniPassEE ヘログオンしません。

現在の起動オプション設定値のブロパティ	<u>?</u> ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
, 現在の起動オプション設定値	
設定オプジョン	
OmniPasslこ自動的にログオン	
OmniPassIこ自動的にログオン	
日本朝で山クオン	
	箇用(<u>A</u>)

Fig.3-64 サーバ側管理コンソール

Fig. 3-65 クライアント側コンソール

OmniPassEE クライアントユーザ側で「OmniPass 起動オプションの変更」を設定させるには、前 頁の「このマシーンでの起動オプションの変更を許可する」を「許可」に設定する必要がありま す。


Windows へのログオン認証

デフォルト設定:「ユーザ名を指定(1対1)」

この設定では、Windows ログオン時のユーザ認証方式について設定します。

「ユーザ名を指定(1対1)」

-- Windows ログオンダイアログに入力されているユーザ名を参照し、そのユーザ名に対応する認証 情報を使用して照合を行います。 特定のユーザ名を入力する作業が必要ですが、照合の対象を特定のユーザ情報に絞ることができ

特定のエーッイをパカッる作業が必要ですが、無日の対象を特定のエーッ情報に取るるため、照合に要する時間を大幅に短縮することができます。

(登録ユーザ数が多いシステムに有効です。)

「登録データと認証(1対N)」

OmniPassEE サーバに登録されているすべての認証情報と照合を行います。
 特定のユーザ名を入力する必要はありませんが、登録ユーザ数が多いシステムにおいては照合に
 時間を要します。また、指紋取得時に常に認証データと照合を行ないますので、ネットワーク上でより負荷がかかります。

Winodwsへのロゲオン認証のプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
Winodwsへの口がすン認識正	
設定打ジョン	
ユーザ名を指定(1対1) ▼	
ユーザ名を指定(1対1) 登録データと認証(1対N)	
OK キャンセル 近	箇用(<u>A</u>)

Fig. 3-66 サーバ側管理コンソール



このオブジェクトのアドミニストレータ

デフォルト設定:「無効」

この設定では、選択されている OmniPassEE クライアント PC の管理者として、任意の OmniPassEE クライアント PC の管理者として、任意の OmniPassEE クライアントユーザを追加することができます。

「選択」をクリックし追加する OmniPassEE クライアントユーザを指定します。

(「2-5-2. OmniPass Management Console から追加」の STEP2 からの手順と同様に OmniPassEE クライアントユー ザを選択します。)

リストにユーザを追加することで設定値は有効となります。

リストからユーザをすべて削除すると、設定値は無効になります。

右図は「test02」を追加した例です。

「test02」はサーバ PC ヘローカルログオン後 にサーバ側管理コンソールにて、 この OmniPassEE クライアント PC の各設定を行

うことができます。

このオフジェクトのアトミニストレータ	×
選択(S) 選択削除(B) 完了	キャンセル(C)

Fig. 3-67 サーバ側管理コンソール

この設定で追加されたユーザ以外は、サーバ側管理コンソールでこの PC を管理することができなくなります。設定を解除するためには、[このオブジェクトのアドミニストレータ] リストに指定されたユーザとしてサーバ PC にローカルログオンし、リストからユーザ名を 削除する必要があります。

サーバ PC にローカルログオンする際に、ユーザにはドメイン管理者の権限を与える必要が あります。



SID Information

この設定では、OmniPassEE クライアント PCの SID 情報を閲覧することができます。

SID Informationのプロ	パティ	? ×
SID Information		1
Machine Name :	TEST-PC	
Local SID :	5-1-5-21-3435050986-4121351656-4261300969	
Domain SID :	5-1-5-21-2043771624-1420708323-498203850-1146	
de la constante de	OK	

Fig.3-68 サーバ側管理コンソール



他のユーザーを登録する権限を持つユーザのリスト

デフォルト設定:「無効」

この設定では、OmniPassEE に登録されていないユーザのうち、指定したユーザにのみ OmniPassEE ユーザを登録する権限を与えることができます。

「選択」をクリックし追加する OmniPassEE クライアントユーザを指定します。

(「2-5-2. OmniPass Management Consoleから追加」の STEP2 からの手順と同様に OmniPassEE クライアントユー ザを選択します。)

リストにユーザを追加することで設定値は有効となります。

リストからユーザをすべて削除すると、設定値は無効になります。

「無効」

-- 全てのドメインユーザが、この OmniPassEE クライアント PC 上で OmniPassEE ユーザを登録 することができます。

「有効」

-- リスト追加されていないドメインユーザは、この OmniPassEE クライアント PC 上で OmniPassEE ユーザを登録することはできません。

※ ただし、次のユーザはリストに追加されていない場合も OmniPassEE ユーザを登録する権 限があります。

• Domain Admin 権限のあるユーザ

既に OmniPassEE に登録済みのユーザ



Fig. 3-69 サーバ側管理コンソール

(OmniPassEE に登録されていない「test00」を追加し た例)



Fig. 3-70 クライアント側

(OmniPassEE ユーザを登録する権限のないドメイン ユーザでの警告画面)



3-4. イベントログについて

クライアントユーザ・OmniPassEE クライアント PC のイベントログ設定

各クライアントユーザ、各 OmniPassEE クライアント PC でのログを保存することができます。

- クライアントユーザの設定
 - -- OmniPass Management Consoleの「ユーザ名」→「イベントログ」を選択します。
- ・ OmniPassEE クライアント PC のログ設定
 - -- OmniPassEE 管理コンソールの左欄から「ユーザ名」→「イベントログ」を選択します。



Fig. 3-71 ユーザのイベントログ



[このユーザに対するイベントログサーバ]

「このユーザに対するイベントログサーバ」をダブルクリックすると下図が表示されます。 「選択」をクリックしイベントログを保存する PC を指定します。

- (「2-4-2. OmniPass Management Consoleから追加」の STEP2 からの手順と同様にイベントログを保存する PC を 選択します。)
 - ※ 既にロギングする PC が設定されていて、他の PC を指定する場合は一旦リスト内から PC を選択し「選択削除」をクリックする必要があります。

リストから端末を選択			X
	n.		
with promarrier			
	選択削除(<u>R</u>)	完了	++>telu(C)

Fig. 3-72 サーバ側管理コンソール



[このユーザについてイベントのログは取りますか?]

「このユーザについてイベントのログはとりますか?」をダブルクリックすると下図が表示され ます。

このユーザについてイベントのログは取りますか?のフ	PDパティ	<u>? ×</u>
02-サモンいてイベントの旧ケロルのますか 2 のフ イベントロゲ ロキンゲイベント: PWD REPLACEMENT PWD CHANGED PWD CHANGED PWD CHAIT ACCESSED PWD DELETED FIE ENERYPT FIE EDECRYPT FIE EDECRYPT FIE EDECRYPT FIE EDECRYPT	ログラルーフ [。] レ パスワード置換イヘント レ ファイル暗号化開始イベント レ ログオンイヘント	?×
FILE SHARE FILE DRAG FILE FILE DRAG FILE LOGON_WINLOGON 選択されたイベント: 12		
		B

Fig. 3-73 サーバ側管理コンソール

ロギングするイベントを選択して「OK」をクリックします。

「ロギングイベント」欄のキーを選択すると、ウィンドウ下部の「イベント説明」欄にそれぞれ の説明が表示されます。

また、「ロググループ」のチェックボックスにチェックを入れると、該当するイベントすべてが 選択されます。

パスワード置換イベント	PWD_REPLACEMENT	: パスワード置換イベント
	PWD_ADDED	: パスワードダイアログ追加イベント
	PWD_CHANGED	: パスワードダイアログ更新イベント
	PWD_VAULT_ACCESSED	: パスワードダイアログアクセスイベント
	PWD_DELETED	: パスワードダイアログ削除イベント
パスワード暗号化開始イベント	FILE_ENCRYPT	:ファイル暗号化完了イベント
	FILE_DECRYPT	:ファイル復号化イベント
	FILE_SHARE	:ファイル共有化イベント
	FILE_OPEN_FOLDER	:フォルダオープンイベント
	FILE_DRAG_FILE	: 暗号化ファイルドラッグイベント
	FILE_DROP_FILE	: 暗号化ファイルドロップイベント
ログオンイベント	LOGON_WINLOGON	: Windows ログオンイベント



イベントログの確認

Windows の「スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「イベントビュ ーア」を開き、「OmniPass」を選択してください。

右のように、指定したイベントについ てのログが「OmniPass」に保存されて います。



Fig. 3-74 イベントビューア

(Windows Server2008 R2 での例)



3-5. ライセンスの追加

OmniPassEE では、最初に購入したクライアントライセンスが足りなくなった場合でも、簡単にラ イセンスを追加することができます。

うイセンスを追加するには、追加ライセンスファイルを購入していただくことが必要です。

[OmniPassEE クライアントライセンス追加の方法]

STEP 1

OmniPass Management Consol の

「OmniPass」→「ライセンシー」を右クリ ックし「ライセンスの追加」を選択します。

STEP 2

追加用のライセンスファイル(*.key)を選 択し「開く」をクリックします。

🔍 OmniPass Mana	gement Console			_ 🗆 ×
ファイル(F) 操作(A)) 表示(V) ヘルプ(H)			
🗢 🔿 🖄 🙆	🗟 🛛 🕐			
🧮 OmniPass Manae	ement Console Root	日付	ユーザ	端末
🖃 🕰 OmniPass		19−05−2004	10	10
⊕ opee7rate	oc.com			
 第1277年 「新たい」 	ライセンスの追加			
	表示(V) ▶			
	最新の情報(こ更新(F) 一覧のエクスポート(L)			
license keyファイルを使	へルプ(H)			<u></u>

Fig. 3-75 サーバ側管理コンソール

🔍 提供されているラ・	イセンスファイルの場所を	指定してください。				×
ファイルの場所(1):	🐌 License-25		-	(= 🖻 💣 📰		
最近表示した場所 デスクトップ デスクトップ ライブラリ コンピューター	之前。 licensekey		▼ 更新日時 2006/01/18	▼ 推奨 848 KEY ファイル	• 9 7X	KB
ネットワーク	ファイル名(N):	license			閙(())	
	ファイルの種類(工):	OmniPass ライセンス	キーファイル (*key)		キャンセル	

Fig. 3-76 サーバ側管理コンソール

STEP 3

「OK」をクリックします。



Fig.3-77 サーバ側管理コンソール

🔍 OmniPass Management Console			
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)			
🗇 🔿 🖄 🙆 🗟 🛛			
📔 OmniPass Management Console Root	日付	2-#	《端末
🖃 🕰 OmniPass	(≝) 19-05-2004	10	10
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	16-01-2006	25	25
			L
全ライセンス数 - ユーザ:35, 端末:35			

Fig. 3-78 サーバ側管理コンソール

STEP 4

ライセンスが追加されました。



4-1. トラブルシューティング

[サーバ側インストール時、OmniPass コンテナの作成に失敗した場合]

STEP 1

サーバ側アプリケーションのインストール 時、OmniPass コンテナの作成に失敗する場 合があります。



STEP 2

サーバ側 PC のスタートメニューより 「すべてのプログラム」→「管理ツール」 \rightarrow 「Active Directory ユーザーとコンピュ ーター」を起動します。 「Users」より OmniPassEE 管理者のプロパ 🔚 Active Directory ユーザーとコンピュータ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) 🗔 🖌 🗀 🔀 🛛 📷 🗏 📚 🖆 🍸 🔁 📚 | 説明 種類 Administrator 🧟 Allowed ROD コピー(C)... グループに2週加(G)... 名前のマッピング(P)... アカウントを無効にする(S) パスワードのリセット(E)... 移動(V)... ホームページを閉(C) ゆメンバー Sert Publishe クのメンバーはディ Denied ROD... DnsAdmins DnsUpdatePr. クのメンバーは、ド 者グループ -バーなどのほか. Ŧ Domain Controllers ForeignSecurityPrincipal ForeignSecurityPrincipa LostAndFound Managed Service Accou OmnipassContainer Program Data System 😹 Domain Admi 😣 Domain Com. 管理者 ホーム ページを開 メールを送信(A) すべてのワークステ... すべてのドメイン コ... 全ゲスト 全ユーザー Comain Com. Domain Contre Domain Contre Domain Contre Domain Usert Dom すべてのタスク(K) + Isers
 Image: Imag ェューン ライズの管理者 ブのメンバーは、エ・ ブのメンバーはドメ・ -/ドメインへの。 パーサードス ヘルプ(H) ビキュワティ クルー セキュリティ グルー このグループのサーバーはユ. このグループのメンバーは、ド スキーマの指定された管理者

Fig. 4-2 サーバ側インストール時のエラー画面

STEP 3

ティを開きます。

「アカウント」タブを選択し「ユーザーの ログオン名 | に管理者のログオン名を入力 し、ドメインを選択します。

「OK」をクリックし、OmniPass コンテナの 作成に成功するかを確認してください。

Iministratorのプロパティ			?
ダイヤルイン リモート デスクトップ サービス 全般 住所 アカウン	環境 スのプロファイル 個 ト プロファイル 電話	セッション 人用仮想デスクトップ 舌 所属されている	│ リモート制御 │ COM+ │ フリガナ 組織│所属するグループ
ユーザー ログオン名(<u>U)</u> : administrator			
ユーザー ログオン名 (Wind OPEE7¥	lows 2000 より前)(<u>W</u>): Ac	Iministrator	
ログオン時間(L)	ログオン先(丁)…		
□ アカウントのロックを解除	余する(<u>N</u>)		
 アカウントのロックを解釈 アカウントオブション(Q): ローザー(は次回ログ ローザー(は次ロワー) パスワードを無見限し 「パスワードを無見限し」 「常号化を元に戻せる 	余する(<u>N</u>) オン時にパスワード変更 ドを変更できない にする る状態でパスワードを係	更が必要 発存する	<u> </u>

Fig. 4-3 サーバ側 ActiveDirectoryの

管理者プロパティ画面



4-2. OmniPassEE クライアントユーザのアカウント情報管理について

OmniPassEE 管理者は OmniPassEE クライアントユーザが登録した Web・アプリのアカウント情報 を閲覧・編集することができます。

(設定方法については、第三章の「クライアントユーザのパスワード記憶情報を管理者にも公開、 編集可能とすることを許可する」設定をご参照ください。)

OmniPass Management Console 上の「ユーザ名」 -「アカウント」を選択し、右欄のユーザ ID を ダブルクリックすることで、Fig. 4-4 の画面を 表示させることができます。

このプロパティから、OmniPassEE 管理者は、他 のユーザへのページのコピーや、ユーザが記憶 させたユーザ名、パスワードの編集、ページの 削除、ファイル保存を行うことができます。

アカウント管理の各機能については、次ページ より説明いたします。

est01のプロパティ		? ×
⑦ アカウントの管理		
		[
ユーザID: test01		
,		
ハペスワートド保護ダイアログ	ユーザ名とパスワード	
OmniPass Validate Sample		
	and of other	
他のユーザへの百二~ 百削除	ス別プトの編集	値のマスク解除と編集
ファイルから読み込み ファイルに保存]	
「「 いっつしいへんないますね たせくいこう かれかがいけ		
日本度エーリンを注意すびはようながったかっ もしくは国年可になりを対したかっ	(ソート) ビ1米(鉄色41)/こり1.	「UYTEXIG C目動加引にLOK」
▶ アカウント管理タブよりこのエントリのユーザ名と	パスワートを隠す。	
□ OmniPass管理者によって管理。		
Enable Manual Authentication.		
	ОК	キャンセル 適用(A)

Fig. 4-4 サーバ側管理コンソール



各チェックボックスについて

「パスワードで保護されたサイトに自動ログインする。 認証待ち状態にはなりません。」

-- チェックを入れると、ユーザの認証無しに登録情報が自動的に入力され、自動的にログイン します。

「一度ユーザが認証されれば選択されたパスワードで保護されたダイアログに対して自動的に [0K]もしくは[許可]ボタンをクリックする。」

-- チェックを入れると、ユーザが認証され登録情報が入力された後に、ユーザが「OK」ボタン を押さなくても自動的に「OK」ボタンがクリックされます。

「アカウント管理タブよりこのエントリのユーザ名とパスワードを隠す。」

-- チェックを入れると、OmniPassEE クライア ントユーザは登録情報の操作・閲覧ができま せん。



Fig. 4-5 クライアント側コンソール

「OmniPass 管理者によって管理。」 -- チェックを入れると、OmniPassEE クライア ントユーザは登録情報の操作はできません が、閲覧はできます。

<u>アクション</u>	ボール小の管理 D: test01 (例を値) バスワード 保護されたダイアログ ユーザるとバスワード OmmPass Validate Sample **** ****
に、ドメイン: 07527 <u> イージョン詳細</u> バージョン: 7.00.66 ビルド曲号: 401111109	ページの前輪 値のマスク解除 事前に登録した代心ホイージを表示したときに、認証操作は行わずに自動的に パスワードを入力します。 ユーザ短距が正常にたったなわれると、選択したパスワードダイアログの [OK]または (注信) パジンが自動的につりつります。 変更をすべて得存 ✓

Fig. 4-6 クライアント側コンソール



[他のユーザへの頁コピー]

登録情報を他の OmniPassEE クライアントユー ザヘコピーする場合は、

コピーする登録情報を選択し「他のユーザへの 頁コピー」をクリックします。



Fig. 4-7 サーバ側管理コンソール

[他のユーザへの頁コピー]-[リストからエントリにコピーするユーザを選択] 選択されている登録情報を他のユーザヘコピーする場合に選択します。

STEP 1

「リストからエントリにコピーするユーザを 選択」を選択し「次へ」をクリックします。

(「WEB 頁をそのまま保存する」にチェックを入れると、 STEP8 は表示されずコピー元の設定が反映されます。)

STEP 2

「選択」をクリックします。

Fig.4-8 サーバ側管理コンソール

Fig. 4-9 サーバ側管理コンソール



STEP 3

「詳細設定」ボタンをクリックします。

オブジェクトの種類の避根(S):	
ユーザー	オブジェクトの種類(0)
場所の指定(E):	
opee7ratoc.com	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (<u>例)(E</u>):	
	名前の確認(<u>C</u>)
=¥ćm=@cm/A)	
IF新聞設定(A)	OK キャンセル

STEP 4

「検索」をクリックします。

ユーザー の選択	<u>? ×</u>
オブジェクトの種類の違訳(S):	オブジェクトの種類(0)
opee7ratoc.com	場所(_)
共通クエリ	
名前(<u>A</u>): 次の文字で始まる 💌	<u>₹\(C)</u>
説明(D): 次の文字で始まる 💌	検索N
 □ 無効になっているアカウント(E) □ 無判躬良のパスワード(※) 	中止①
前回ログオン時からの日数(1): ▼	9 7
名前 (RDN) 電子メール アド フォルダー	

Fig. 4-11 サーバ側管理コンソール

STEP 5

検索結果が表示されます。 検索されたユーザから、ページをコピーする OmniPassEE クライアントユーザを選択し「OK」 をクリックします。

ユーザー の選択		<u>? ×</u>
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): ユーザー		オブジェクトの種類(①)…
場所の指定(F):		
opee7ratoc.com		場所(L)
共通りエリ 名前(<u>A</u>): 次の文字で始まる	v	
説明(<u>D</u>): 次の文字で始まる		検索(N)
□ 無効になっているアカウント(□ 無期限のパスワード(½)	B	中止(D
前回ログオン時からの日数(1):		9 7/
		OK +*//7//
検索結果(<u>U</u>):		
名前 (RDN) 電子メール ア	ド	
Administrator	opee7ratoc.com	
test01	opee7ratoc.com	
Litest02	opee7ratic.com	
kest03	opee7ratoc.com	
-		

Fig. 4-12 サーバ側管理コンソール

ユーザー の選択	<u>?</u> ×
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー 場所の地学(F):	オブジェクトの種業(の)
opee7ratoc.com	場所(」)
選択するオブジェクト名を入力してください (<u>例)(E):</u>	名前の確認(C)
LESTUZ (TESTUZADEE/TATUE COM)	
	OK ++>\ULI

Fig. 4-13 サーバ側管理コンソール

STEP 6

選択した OmniPassEE クライアントユーザ名が 表示されていることを確認し「OK」をクリック します。



STEP 7

選択した OmniPassEE クライアントユーザ名が 表示されていることを確認し「次へ」をクリッ クします。

STEP 8

必要に応じてコピーするページの各設定を行い「WEB サイト保存」をクリックします。

選択(<u>S</u>)	選択削除(B) (次へ	++)/t/(C)
Fig.4	4-14 サーバ側管理:	コンソール
Step 2 - パスワー	ド保護ダイアログのバッチ登録 - ユーザオブシ	עבי
WEBサイト名:	OmniPass Validate Sample	
ユーザ名:	OPEE7¥test02	
ユーザ ID:	test02	
		値のファケ協調会と 行生
ユーザ名とパスワード		
ユーザ ⁵ 名とパ ⁵ スワード ⁵ ****** 		
ユーザ ⁶ 名とパスワート ⁶ ****** ******	- 保護されたサイトに自動血ケインする。認証待ち状	1800パスカオ+ホーレ180天
ユーザ・名とパスワート* ****** ******	- 保護されたサイドに自動ロケインする。認証行らち状 が認証されれば選択されたパスワートで保護され しく13目手可承劣ンをかわする。	1800パス/オーホン/MERを 創いにはなりません。 いたゲイアログリニナキして自動
ユーザ名とハウード ****** 	- 保護されたサイトに自動ロケインする。認証待ち状 だ認証されれば違択されたパスワートで保護され くびるほそ可添うがなりかする。 砂プ・より二のエンドリのユーザ名とパスワートで隠す。	増いこはなりません。 1たゲイアロクリニオリして自動 -

Step 1 - パスワード保護ダイアログのバッチ登録 - ユーザ選択

STEP 9

コピー先の OmniPassEE クライアントユーザの プロパティを同様に開き、登録情報がコピーさ れていることを確認します。 test02のプロパティ <u>?</u>× 合 アカウントの管理 | ユーザID: test02 パスワート省保護ダイアログ ユーザ名とパスワード: ***** nniPass Validate Samp 他のユーザへの頁コピー 頁削除 スカリフトの編集 値のマスカ解除と編集 ファイルから読み込み ファイルに保存 パスワードで保護されたサイトに自動ロゲインする、認証待ち状態にはなりません。 →度ユーザが認証されれば選択されたパスワードで保護されたゲイアロケリこされして自動的に[OK] もしくは低キャリホッシを切ったする。 • アカウント管理タブよりこのエントリのユーザ名とパスワードを隠す。 Г OmniPass管理者によって管理。 Г Enable Manual Authentication OK キャンセル 適用(必

Fig. 4-15 サーバ側管理コンソール

WEBサイト(保存(S) キャンセル(C)

Fig. 4-16 サーバ側管理コンソール



[他のユーザへの頁コピー]-[ファイルからエントリに対するユーザと値を選択]

あらかじめファイル保存された登録情報を他の OmniPassEE クライアントユーザへコピーする場合に選択します。

STEP 1

「ファイルからエントリに対するユーザと値 を選択」を選択し「参照」をクリックします。



STEP 2

ファイル保存されている情報ファイル(*. ini) を選択し「開く」をクリックします。

※保存時に作成した*.ini ファイルを編集してコピー先の OmniPassEE クライアントユーザと登録情報を設定することができます。
例:(test02にID:345/PW:efghiを追加)
[OmniPass Vault Information]
OPEE7¥test01;VaultFriendlyName=Web Login;, 123, abcde,,;;
OPEE7¥test02;VaultFriendlyName=Web Login;, 345, efghi,,;;

STEP 3

「完了」をクリックします。



Fig. 4-18 サーバ側管理コンソール



Fig. 4-19 サーバ側管理コンソール



[他のユーザへの頁コピー]-[エントリをデフォルトユーザポリシーと拡張ルールに基づいて他 のユーザにコピーします。]

登録情報をデフォルトユーザポリシーと他のすべての OmniPassEE クライアントユーザへコピー します。

STEP 1

「エントリをデフォルトユーザポリシーと拡 張ルールに基づいて他のユーザにコピーしま す」を選択し「次へ」をクリックします。

ペスワード保護ダイアログのバッチ登録処理 - オブション選択	×
パスワードイ呆護ダイアロヴ:	
OmniPass Validate Sample	
○ リストからエントリにコピーするユーザを選択	
▶ WEB頁をそのまま保存する…	
(このオブ%」シをモッウすると選択された全ユーザはパスワートで保 譲されたダイアロウへロケイシするための信任状を得ることができます)	
○ ファイルからエントリに対するユーザと値を選択	
7元(1)名:	
	参照(<u>B</u>)
● 江ンりをデフォルトユーザホリシーと拡張ルールに基づいて他のユーサーにエピーします))
(次へ)	キャンセル

Fig. 4-20 サーバ側管理コンソール

STEP 2

必要に応じて各設定を行い「WEB サイト保存」 をクリックします。

Step 2 - パスワー	ド保護ダイアログのバッチ登録 - ユーザオブ	252
WEBサ小名:	OmniPass Validate Sample	
ユーザ名:	テウォルトユーザホリシー	
ユーザ ID:	デウォルトユーザホリシー	•
ユーザ名とパスワート	\$	値のマスク解除と編集
xokoxok xokoxok		
□ ハ°スワート~で	保護されたサイトに自動ロゲインする、認証待ちれ	弌態にはなりません.
☞ 一度ユーザ	が認証されれば選択されたパスワードで保護さ	れたダイアロケリこ対して自動
・ 的に[OK]も	っしくは[許可]ホタンを夘ックする.	
□ アカウント管理	埋タブよりこのエントリのユーザ名とパスワードを隠す	τ.
🔲 (OmniPass	管理者のみ編集可能にする	
	1115 Del (11	
	WEB91M:	#17(5)

Fig. 4-21 サーバ側管理コンソール



[頁削除]

STEP 1

表示されている登録情報を削除する場合は、 「頁削除」をクリックします。

st01のプロパティ			2
▲ アカウントの管理			
ユーザID: test01			
ハ。スワートド呆調要ダイアロクミ		ユーザ名とパスワード:	
OmniPass Validate Sample		*****	
他のユーザへの頁北く	頁削除	2 かりつ 予の編集	値のマスク解除と編集
ファイルから読み込み	ファイルに保存]	
□ パスワードで保護された	がいて自動ロゲインす	る. 認証待ち状態には	なりません.
一度ユーサが認証されれ	いば選択されたパス	ワードで保護されたが行	叩りに対して自動的に[OK]
もしくは世年可」ボタンを外	ックする.		
アカウント管理タブよりこの	コンドリのユーザ名と	パスワートを隠す。	
「 OmniPass管理者によ-	て管理。		
Enable Manual Auther	tication.		
		ОК	キャンセル 適用(A)
	11 0		· · · · ·

STEP 2

削除する場合は「はい」をクリックします。



Fig. 4-23 サーバ側管理コンソール



[スクリプトの編集]

STEP 1

登録情報を編集する場合は「スクリプトの編 集」をクリックします。

test01のプロパティ			<u>? ×</u>
● アカウントの管理			
ב-ליD: test01			
パペスワート『保護タッイアロクジ		ユーザ名とパスワード:	
OmniPass Validate Sample		****	
他のユーザへの頁北~	頁削除	ス別プトの編集	値のマスク解除と編集
ファイルから読み込み	ファイルに保存		
 □ パスワートで保護された: □ 一度2-サガル認証され: ■ しくはほキ可述や2を労 □ アカウント管理なびよりこの 	サイトに自動ロゲインす? れば選択されたパスパ リックする。 Dエントリのユーザ名とハ	5. 認証待ち状態にはな ワードで保護されたゲイアロ ペスワードを隠す。	りません。 ク1こ対して自動的に[OK]
C OmniPass管理者によ	って管理。		
Enable Manual Auther	itication.		
		OK *	*ンセル 道用(点)

STEP 2

編集する内容を選択し「フィールド値」を変更 後に「OK」をクリックします。

このダイアログを使用して、パスワードの置換中に実行されるスクリプトを手動で編集 す。スクリプトエディタでは、構文チェックは実行されないことにご注意ください。	しま
編集するフィールドを選択:	
<名前のないフィールド #2> <名前のないフィールド #2> <名前のないフィールド #3> <個々をクリックして、新しいフィールドエンドリを追加します> 下に移	動 動
エントリの削切余 フィールドスクリプト:	
<pre><dcc>2,242,777<fv><sv><¥FV></sv></fv></dcc></pre>	
// -//rl8: 12345	
ОК ++>UH	

Fig. 4-25 サーバ側管理コンソール

Fig. 4-24 サーバ側管理コンソール



[値のマスク解除と編集]

STEP 1

「値のマスク解除と編集」をクリックすると、 「ユーザ名とパスワード」のマスク表示が解除 され、登録情報の編集を行うことができます。



Fig. 4-26 サーバ側管理コンソール

test01のプロパティ ? × アカウントの管理 ユーザ'ID: test01 パ*スワート"保護ダイアログ" 543 nniPass Validate Samnle ファイルから読み込み ファイルに保存 □ パスワードで保護されたサイトに自動ロゲインする、認証待ち状態にはなりません。 一度ユーザが認証されれば選択されたパスワートで保護されたダイアロケルに対して自動的に[OK] もしくは個年可述や少を切ったする。 Г アカウント管理タブよりこのエントリのユーザ名とパスワートを隠す。 OmniPass管理者によって管理。 Г Enable Manual Authent OK キャンセル 適用(A)

Fig. 4-27 サーバ側管理コンソール

STEP 2

右図のように直接編集を行います。



[ファイルから読み込み]

STEP 1

保存された登録ページから読み込むには「ファ イルから読み込み」をクリックします。

STEP 2

読み込むファイル(*. opv)を選択し「開く」を クリックします。

test01のプロパティ			<u>?×</u>
アカウントの管理			
ב-#ID: test01			
ハ°スワート*1呆詰集ダイアロク*		ユーザ名とパスワート	
OmniPass Validate Sample		*****	
他のユーザへの頁北~	頁削除	スタリフトの編集	値のマスク解除と編集
(ファイルから読み込み)	ファイルに保存		
□ ぃ?フワードで促進された。	せんこう新いかかった	、 17月11法去分割日十	tul=++4
	91142890491291	2. E28E19701A281C18	ADREN.
一度ユーサガル記述される もしくは[1年可]ホタンを外	れば選択されたパス! りっりする.	フートで「希護されたタイ)	アロダイに対して自動的にLOK」
□ アカウント管理タフィよりこの	コンドリのユーザ名とパ	パスワートを隠す。	
□ OmniPass管理者によ・	って管理。		
Enable Manual Auther	itication.		
	Γ	OK	キャンパクル (油田(A)
	L		
	· ·		

Fig. 4-28 サーバ側管理コンソール

保管庫ファイルを聞く、	または名前を付けて自	¥F				x
ファイルの場所()	🎉 Data		•	+ 🗈 💣 🗊		
() 最近表示した場内	名前 OPValopy	>	* 更新日時 2011/04/22	+ 種類 7:12 OPV ファイル	- サ イズ 	0
デスクトップ						
5175)						
2)41-9-						
ネットワーク						
	ファイル:名(型):			-	■((0)	
	ファイルの種類(①)	パスワート「保管庫ファ	fil (*opv)	×	キャンセル	

Fig. 4-29 サーバ側管理コンソール



Fig.4-30 サーバ側管理コンソール

STEP 3

読み込みに成功しました。「OK」をクリックし ます。

※ 登録ページの情報のみコピーされます。ユ ーザ名とパスワードはコピーされません ので、スクリプトを編集して必要な情報を 保存してください。



[ファイルに保存]

STEP 1

選択された登録情報を保存するには「ファイル に保存」をクリックします。



Fig. 4-31 サーバ側管理コンソール

(法律事)・// 4.4 (K、.4.2.4.4.6.644(けて保存... 文 (保存する場所()) Data > ← (k) (F) (F) ●<

Fig. 4-32 サーバ側管理コンソール



Fig. 4-33 サーバ側管理コンソール



Fig. 4-34 サーバ側管理コンソール

STEP 2

保存するファイル名を入力し「保存」をクリッ クします。

STEP 3

登録情報を他の OmniPassEE クライアントユー ザヘコピーする際に編集することができる ini ファイルを作成する場合は「はい」をクリック します。

STEP 4

保存するファイル名を入力し「保存」をクリッ クします。



STEP 5

以上で登録情報の保存は完了です。



Fig. 4-35 サーバ側管理コンソール



4-3. OmniPassEE クライアントユーザの緊急ポリシーオーバーライド

設定について

OmniPassEE 管理者は、OmniPassEE クライアントユーザが認証できない場合の認証方法を設定することができます。

ここでは、OmniPassEE サーバ側が発行する認証コードでの認証方法(認証コード発行)について説明いたします。

(設定方法については、第三章の「ユーザの緊急ポリシーオーバーライド」設定をご参照ください。)

ユーザの緊急ホリシーオーバーライト゛のプロパティ	? ×
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
, ユーザの緊急ホリシーオーバーライト [、]	
設定オプション	
無効	
OK キャンセル 道	用(A)

Fig. 4-36 サーバ側管理コンソール



STEP 1

OmniPassEE クライアントユーザが認証できな い場合に「ログインできません」をクリックす ると、「緊急ポリシーオーバーライド」の画面 が表示され、認証コード発行用の「問題コード」 が発行されます。



Fig. 4-37 クライアント側コンソール

緊急ポリシーオーバーライド	
社内の技術サポートに連絡を取り、以下(する必要があります。提供された応答コー	Dボックスに表示される「問題」情報を提供 ドを「応答」ボックスに入力してください。
問題コード: 02 5E D4 B2 57 31 EA 95	
応答コード:	
ОК	キャンセル

Fig. 4-38 クライアント側コンソール

STEP 2

OmniPassEE 管理者は、OmniPassEE クライアン トユーザ側で生成された「問題コード」を次の アプリケーションに入力します。 64bit版OS: [CD-ROM]¥Enterprise¥ Enterprise_x64¥Response¥Response_x64. exe

32bit版OS:[CD-ROM]¥Enterprise¥ Enterprise_x32¥Response¥Response_x32.exe

「応答の生成」をクリックすると、認証用の「応 答コード」が生成されます。

STEP 3

OmniPassEE クライアントユーザは、OmniPassEE 管理者より発行された「応答コード」を入力し 「OK」をクリックすることで認証されます。

応答コードの生め	
緊急ポリシーオ・ 名、ドメイン、要	ーバーライド応答コードを要求しているユーザから受け取ったユーザ 求コードを入力してください。
ユーザー名:	test01
ドメイン:	OPEE7
問題コード:	
応答コード:	
	応答の生成 ウィンドウを閉じる

Fig. 4-39 サーバ側認証コード発行アプリ

緊	急ポリシーオーバーライド
	社内の技術サポートに連絡を取り、以下のボックスに表示される「問題」情報を提供 する必要があります。提供された応答コードを「応答」ボックスに入力してください。
	問題コード:
	02 5E D4 B2 57 31 EA 95
ſ	応答コード:
	1234567890abcdefg
	OKキャンセル

Fig. 4-40 クライアント側コンソール



4-4. OmniPassEE クライアントユーザの認証規則の設定について

OmniPass Management Console では、OmniPassEE クライアントユーザの認証規則について設定することができます。

「OmniPass」→「ドメイン名」→「ユーザ」→ 「クライアントユーザ名」→「認証デバイス」 キーを右クリックし「認証規則の設定」をクリッ クします。



Fig. 4-41 サーバ側管理コンソール

デバイス名	Windowsと OmniPassへのロ グオン	アブリケーション パスワードとWeb サイトバスワード の置換	ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	ユーザー管理機 能
マスター パスワードの認				
SREX-FSU2 指紋センサー				•

※ チェックを入れた項目の認証が必須となりますが、OmniPassEE クライアントユーザ側でも設定を変更することができます。 OmniPassEE クライアントユーザ側で設定変更させたくない場合は、52 頁の「ユーザに認証規則とポリシーの設定を許可する」を「許可しない」に設定してください。

認証規則の設定画面が表示されますので、 OmniPassEE クライアントユーザの各認証規則を 設定することができます。

(OmniPassEE サーバ PC が 64bit OS の場合、 SREX-FSU1 の認証規則を変更することができま せん。)

Fig. 4-42 サーバ側管理コンソール



4-5. デフォルトユーザポリシーの設定について

OmniPass Management Console では、登録されているすべての OmniPassEE クライアントユーザの 各設定を一括で設定することができます。

※ 以下の説明では OmniPassEE クライアントユーザの設定をおこなっていますが、OmniPassEE クライアント PC についても同様に設定することができます。

【設定】

「0mniPass」→「ドメイン名」→「ユーザ」→ 「デフォルトユーザポリシー」→「設定」キー をクリックし設定項目を表示します。

例では、「ユーザに認証規則とポリシーの設定を 許可する」をデフォルト値の「許可」から「許可 しない」に変更しています。



Fig. 4-43 サーバ側管理コンソール

【確認】

例では、「test01」の設定が変更されていること を確認しています。

(変更した項目はすべての OmniPassEE クライア ントユーザに反映されます。)



Fig. 4-44 サーバ側管理コンソール

4-6. アドミニストレータグループメンバーの設定について

OmniPass Management Console では、クライアント PC を OmniPassEE サーバに接続する権限を持 つユーザを追加することができます。(アドミニストレータグループメンバー) (参照:「2-4-1. クライアント PC から接続」)

【ユーザの追加】

「OmniPass」→「ドメイン名」→「アドミニスト レータグループメンバー」キーを右クリックし 「メンバーの追加」をクリックします。 (「2-5-2. OmniPass Management Console から追加」の STEP2 からの手順と同様にユーザを追加します。 ※ ここで追加するユーザは OmniPassEE クライアントユ ーザでなくても構いません。)

ユーザが追加されたことを確認します。

27/14/2 100 m/ hst Met (200 0 x)/2(10) Image: State and Sta	QonniPass Management Console		
	ファイル(F) 時代(A) 表示(V) ヘルプ(H)		
Ora-Piss Musecent Concess Pout D/m ² -6, 15/2/5, Concellises Generalises Generalises Image: Concellises Genetises Generalises	🗢 🕸 🙆 🙆 📓		
		1 1/47-86 opee pr/200837.com	

Fig. 4-45	サー	バ側管理コ	ン	ン	ール
-----------	----	-------	---	---	----

2 2	1 Y9778 open=200007.com open=200007.com	
ComPress Management Consols Root ComPress Management Consols Root ComPress ComP	1997/26 (see ar-200007.com (see ar-200007.com	
OmrPass Revenuent Concole Rot Conflicts C	opere sV0007.com code sV0007.com	•
Concernation	opee sVUUUU2 com	•
B (B) (9) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	0949.3V.00037.C019	-
● 20-3-1** ● 20-3-1** ■ 20-00年 ■ 24:00 ① 25:12383326-732071**	_	
a B ites D HO≻ ∰ 751228-3978-3700/™		
A HON-		
C 199228-999-990/**		

Fig. 4-46 サーバ側管理コンソール

エンタープラ	ライズサーバを検討	出しました
?	このドメインでOm 定を選択してくだ ・このコンピュー OmniPassエ ーザーのユー	niPassエンターブライズサーバが検出されました。このコンピュータの設 さし。 - 少さのmiPassエンターブライズサーバと接張します。 - ターブライズサーバロコンピュータを追加する構成を持つ、OmniPassユ ザー名とパスワードを指定してくたい。
	ユーザー パスワード: ドメイン:	test01 ****** OPEE
	□ 私は Om	iiPassクライアントアクセスライセンス(CAL)を所有しています。
	へ このコンビュー 今ま、「スタン」	- 気をOmmPass エンターラライズサーバン時続しません。このコンピュー アロンJクライアント モードで動作します。

Fig. 4-47 クライアント側コンソール

OmniPassEE サーバに接続する際、追加されたユ ーザのユーザ名とパスワードを使用して接続す ることができます。

クライアント PC 側から、クライアント PC を



【ユーザの削除】

「アドミニストレータグループメンバー」を削除 するには、削除するユーザ名を右クリックし「削 除」をクリックします。

Consider Management Console			
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H)			
4			
Oron/Data Manusemi Consule Root ● Oron/Data Manusemi Consule Root ● Oron/Data Manusemi Consule Root ■ Oron/Data Manusemi Consule Root	2011-6 € stander € stander	1 Y Y C 24 operator 2000/2 com operator 2000/2 com	A #810

Fig. 4-48 サーバ側管理コンソール



[本マニュアル内での用語定義]

OmniPassEE	OmniPass Enterprise Editionの略です。
サーバアプリケーション	OmniPassEE のサーバ側にインストールするアプリケーション
	で、OmniPass とサーバ側管理コンソールもインストールされま
	す。
クライアントアプリケーション	OmniPassEE のクライアント側にインストールする OmniPass で
	す。
AD	Active Directoryの略です。
ADAM	Active Directory Application Mode の略です。
AD LDS	Active Directory Lightweight Directory Serviceの略です。
OmniPassEE サーバ PC	OmniPassEE でサーバとなる PC です。
OmniPassEE クライアント PC	OmniPassEE でクライアントとなる PC です。OmniPassEE クライ
	アント PC になるには、クライアントアプリケーションのイン
	ストールと OmniPassEE サーバ PC への接続が必要です。
OmniPassEE クライアントユーザ	OmniPassEE でクライアントとなるユーザです。OmniPassEE ク
	ライアントユーザになるには、OmniPassEE サーバへのユーザ登
	録が必要です。
サーバ側管理コンソール	OmniPassEEのサーバ側にインストールされるOmniPassEEの管
(OmniPass Management Console)	理ツールです。このツール上から OmniPassEE クライアントユ
	ーザ・PC についての各種設定を行います。
クライアント側コンソール	OmniPassEE クライアントPC で使用する OmniPass が表示する画
	面です。
OmniPass データコンテナ	OmniPassEE サーバ PC に保存されている OmniPassEE 用のデータ
	コンテナです。OmniPass データコンテナには、OmniPassEE ク
	ライアントユーザ・PC・ライセンスの情報が保存されます。
OmniPass Instance	サーバ側アプリケーションのインストール時、ADAM/AD LDS へ
	のインストールを選択した場合に追加される OmniPass 用のイ
	ンスタンスです。
デフォルトユーザポリシー	サーバ側管理コンソールであらかじめ準備されている
	OmniPassEE クライアントユーザ・PC のデフォルト設定値です。
	サーバ側管理コンソールから OmniPassEE クライアントユー
	ザ・PCを追加した場合、各設定値はデフォルトユーザポリシー
	が反映されます。



FAX:06-6633-8285

RATOC SREX-OPEEV3 質問用紙

●下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の	会社名・学校名			
方のみ	所属部署			
ご担当者名				
E-Mail				
住所	Ŧ			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情報	販売店名		購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカ名と機種名】				
サーバ:	クライアント PC:			
【ご利用の OS】				
サーバ:	クライアント PC:			
【OmniPassEE のバージョン】				
【使用している認証デバイス】				
【お問合せ内容】				

● 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。





